

報 告

三浦半島南西岸魚類目録

工藤孝浩・山田和彦・三井翔太・門田高太・瀬能 宏

Takahiro Kudo, Kazuhiko Yamada, Shota Mitsui, Kota Monda and Hiroshi Senou:
Annotated checklist of marine fishes of the southwestern coast
of Miura Peninsula, Kanagawa Prefecture, Japan

緒 言

相模湾は、本州中部南岸の伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎―富津岬以北の東京湾を除く海域と定義される（瀬能・松浦, 2007）。筆者らは相模湾の魚類相を明らかにすることを目的として、1988年から城ヶ島を中心とした三浦半島南西岸で調査を続け、2018年8月までに9次にわたって546種の魚類を報告した（工藤・岡部, 1991; 工藤ほか, 1992; 岡部・工藤, 1993; 工藤・山田, 2001, 2003, 2005, 2011; 工藤ほか, 2013, 2019）。

本報では、これら既報によって報告された種について整理・統合するとともに、新たに記録されたものを加えて三浦半島南西岸における魚類目録を作成した。また本報で新たに報告された種については、資料番号や出現状況等について写真とともに記述した。

材料と方法

図1に示す神奈川県三浦半島南西部沿岸（剣崎～逗子）において、1988年8月から2021年10月までの約33年間にわたって魚類の出現状況を調査した。なお、図1中には本報で記述した各種の採集・撮影地点を赤丸で示した。

調査は、スキndaイビングによる目視観察と手網採集を中心として、徒歩による手網採集と陸上および船上からの釣りによって行われた。また、著者の1人である山田が1980年代から水揚げ魚を継続的に調査している三崎漁港を除く調査エリア内の漁港に水揚げされた漁獲物についても、補足的に調査対象とした。原則として水深10 m以下に出現した魚類を調査対象としたが、一部には100 mを超える水深から得られた釣獲物や漁獲物が含まれている。

標本は生鮮時にカラー写真で撮影後、観音崎自然博物館魚類資料（KNM-F）、神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料（KPM-NI）、横須賀市自然・人文博物館魚類資料（YCM-P）に登録保管した。また、標本が得られなかった種の生態写真、生鮮標本写真並びに標本写真の一

部は、神奈川県立生命の星・地球博物館写真資料（KPM-NR）として登録した。なお、神奈川県立生命の星・地球博物館の資料番号は、電子台帳上はゼロが付加された7桁の数字が使われているが、ここでは標本資料番号として本質的な有効数字で表した。

魚類の同定、標準和名、学名、分類体系と科の配列は基本的に中坊（2013）に、ハゼ亜目については瀬能ほか（2021）に、幼期については沖山（2014）に従った。また、中坊（2013）の後に学名の変更等があったものについては、同意できるものについてそれぞれ個別の論文に従った。そして、属と種の配列は学名のアルファベット順とした。

種に関する記述において材料については、資料番号、標本が複数個体の場合は個体数、サイズ（標準体長：

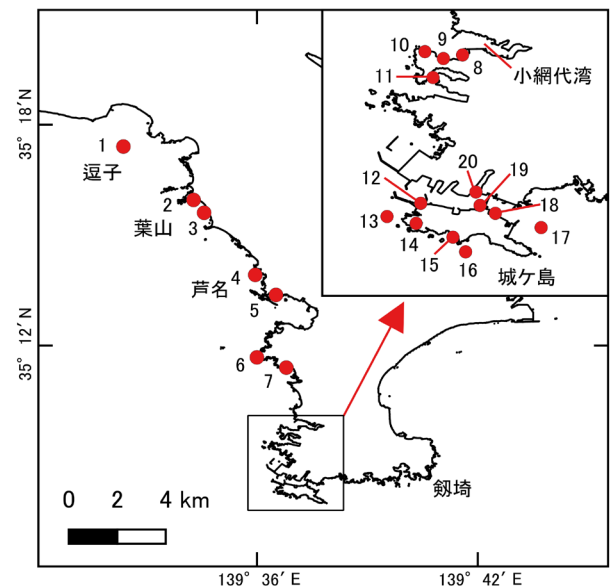


図1. 調査地点。1: 逗子沖オオタカ根; 2: 三ヶ下海岸; 3: 一色海岸; 4: 芦名沖オオツブ根; 5: 佐島海岸; 6: 荒崎海岸; 7: 和田長浜海岸; 8: 小網代湾ヨットハーバー前; 9: 小網代湾横堀海岸; 10: 小網代湾胴網海岸; 11: 油壺; 12: 城ヶ島梶ノ浜; 13: 城ヶ島岩骨; 14: 城ヶ島長津呂; 15: 城ヶ島島外; 16: 城ヶ島クレバス; 17: 城ヶ島へいぶ根; 18: 城ヶ島水試前; 19: 城ヶ島大橋下; 20: 三崎漁港北条湾。国土地理院発行の基盤地図情報を元に作成。

SL；全長 TL；体盤幅：DW), 性別（判定できる場合のみ）、採集年月日（画像資料の場合は撮影日）、採集地（画像資料の場合は撮影地）、採集方法（画像資料の場合は撮影方法）、水深、採集者名（画像資料の場合は撮影者；著者の場合は姓のみ）の順に記した。相模湾における分布記録は Senou *et al.* (2006) を参考にした。

結 果

三浦半島南西岸魚類目録

本研究により、三浦半島の南西部沿岸から 28 目 128 科 639 種の魚類が確認された（付表）。

中坊編 (2013) の後に学名の変更等があったもののうち、著者らが変更等に同意できたものとその根拠論文は次のとおりである：シビレエイ科 *Torpedinidae*：萬代ほか (2017)；ホシエイ *Bathytoshia brevicaudata* (Hutton, 1875)：Last *et al.* (2016)；アカエイ *Hemitrygon akajei* (Bürger, 1841)：Last *et al.* (2016)；ホタテウミヘビ *Ophichthus zophistius* (Jordan & Snyder, 1901)：Hibino *et al.* (2019)；クロアナゴ *Conger jordani* Kanazawa, 1958：Smith *et al.* (2016)；ウルメイワシ *Etrumeus micropus* (Temminck & Schlegel, 1846)：Randall & DiBattista (2012)；ウグイ *Pseudaspis hakonensis* Günther, (1877)：Sakai *et al.* (2020)；チゴダラ *Physiculus japonicus* Hilgendorf, 1879：Chow *et al.* (2019)；トウゴロウイワシ *Doboatherina bleekeri* (Günther, 1861)：Sasaki & Kimura (2019)；トウゴロウイワシ属の 1 種 *Doboatherina* sp.：Sasaki & Kimura (2019)；ホウセキハタ *Epinephelus japonicus* (Temminck & Schlegel, 1843)：Nakamura & Motomura (2021)；ヨコスジイシモチ *Apogonichthyoides sialis* (Jordan & Thompson, 1914)：馬淵ほか (2015)；モンツキイシモチ *Apogonichthyoides melas* (Bleeker, 1848)：馬淵ほか (2015)；クロイシモチ *Apogonichthyoides niger* (Döderlein, 1883)：馬淵ほか (2015)；アオスジテンジクダイ *Ostorhinchus aureus* (Lacepède, 1802)：馬淵ほか (2015)；オオスジイシモチ *Ostorhinchus doederleini* (Jordan & Snyder, 1901)：馬淵ほか (2015)；コスジイシモチ *Ostorhinchus endekataenia* (Bleeker, 1852)：馬淵ほか (2015)；ミナミフトスジイシモチ *Ostorhinchus nigrofasciatus* (Lachner, 1953)：馬淵ほか (2015)；クロホシイシモチ *Ostorhinchus notatus* (Houttuyn, 1782)：馬淵ほか (2015)；ネンブツダイ *Ostorhinchus semilineatus* (Temminck & Schlegel, 1843)：馬淵ほか (2015)；ミスジテンジクダイ *Ostorhinchus taeniophorus* (Regan, 1908)：馬淵ほか (2015)；キンセンイシモチ *Ostorhinchus wassinki* (Bleeker, 1860)：馬淵ほか (2015)；タカノハダイ科 *Latridae*：Kimura *et al.* (2018)；ササズメダイ *Azurina lepidolepi* (Bleeker, 1877)：Tang *et al.* (2021)；スズメダイ *Chromis notata* (Temminck & Schlegel, 1843)：Iwatsubo & Motomura (2013)；キホシスズメダイ *Chromis yamakawai* Iwatsubo & Motomura, 2013：Iwatsubo & Motomura (2013)；アイスズメダイ *Plectroglyphidodon*

obreptus (Whitley, 1948)：Tang *et al.* (2021)；シコクスズメダイ *Pycnochromis margaritifera* (Fowler, 1946)：Tang *et al.* (2021)；ヒメスズメダイ *Pycnochromis vanderbilti* Fowler, 1941：Tang *et al.* (2021)；ルリホシスズメダイ *Stegastes lacrymatus* (Quoy & Gaimard, 1825)：Tang *et al.* (2021)；オトヒメベラ *Pseudojuloides paradiseus* Teo, Gill & Senou, 2020：Teo *et al.* (2020)；ダンゴウオ *Eumicrotremus awae* (Jordan & Snyder, 1902)：Lee *et al.* (2017)；キビレミシマ *Uranoscopus chinensis* Guichenot, 1882：Prokofiev (2021)；ウバウオ *Aspasma ubauo* Fujiwara & Motomura, 2019：Fujiwara & Motomura (2019a)；ミサキウバウオ *Lepadichthys misakius* (Tanaka, 1908)：Fujiwara & Motomura (2019b)；コマハゼ *Inu koma* Snyder, 1909：渋川ほか (2020)；イソミミズハゼ *Luciogobius martellii* Di Caporiacco, 1948：渋川ほか (2019)；ナガレメイトガレイ *Pleuronichthys cornutus* (Temminck & Schlegel, 1846)：Yokogawa *et al.* (2014)；メイトガレイ *Pleuronichthys lighti* Wu, 1929：Yokogawa *et al.* (2014)；マコガレイ *Pseudopleuronectes yokohamae* (Günther, 1877)：尼岡 (2016)；センウマヅラハギ *Thamnaconus multilineatus* (Tanaka, 1918)：松本ほか (2021)；クサフグ *Takifugu alboplumbeus* (Richardson, 1845)：Matsuura (2017)；コモンフグ *Takifugu flavipterus* Matsuura, 2017：Matsuura (2017)

付表に示した 639 種のうち、工藤ほか (2019) 以降に新たに発見されて標本や写真が得られたものと、標本が未収集であったため報告を控えていたもののうち生体写真や生鮮標本写真が撮影されていたものは合わせて 92 種であった。これらに、既報で標本未収集のまま報告したもののうち標本や写真が得られたもの 17 種を加えた合計 109 種について、次のとおり資料番号や出現状況について写真とともに記述した。図 2-15 のキャプション中、撮影者が著者の場合は姓のみを記した。

ギンザメ目 Chimaeriformes

ギンザメ科 Chimaeridae

ギンザメ *Chimaera phantasma* Jordan & Snyder, 1900 (図 2-A)

KPM-NR 219868, 約 800 mm TL, 雌, Feb. 24, 2012, 城ヶ島沖, 水深約 100 m, ヒラメ刺網, 山田撮影。

相模湾では、長井沖の人工魚礁（清水・永田, 1982）、静岡県伊豆海洋公園（瀬能・益田, 1998）などから記録がある。

ネズミザメ目 Lamniformes

オオワニザメ科 Odontaspidae

オオワニザメ
***Odontaspis ferox* (Risso, 1810)**

(図 2-B)

KPM-NR 219872, 3400.0 mm TL, 雌, Apr. 25, 2000, 剣崎沖, ヒラメ刺網, 水深約 50 m, 工藤撮影。

当該個体は京急油壺マリンパークにて剥製を展示, 2021 年 9 月末の同水族館の閉園に伴い東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所へ移管され, 同実験所展示室で展示されている。

相模湾では, 小田原市根府川沖で漁獲されており(金澤ほか, 2001), 伊豆大島で生態写真が撮影されている(KPM-NR 84865)。

ツノザメ目
Squaliformes

カラスザメ科
Etmopteridae

ヒレタカフジクジラ
***Etmopterus molleri* (Whitley, 1939)**

(図 2-C)

KPM-NR 219869, 約 300 mm TL, 雌, Feb. 24, 2012, 城ヶ島沖, ヒラメ刺網, 水深約 100 m, 山田撮影。

採集年月日不明の相模湾産の標本が米国国立自然史博物館に収蔵されている(Shinohara & Williams, 2006)ほか, 長井沖の人工魚礁(清水・永田, 1982)から記録がある。

トビエイ目
Myliobatiformes

ツバクロエイ科
Gymnuridae

ツバクロエイ
***Gymnura japonica* (Temminck & Schlegel, 1850)**

(図 2-D)

KPM-NR 219896, 約 1800 mm DW, Oct. 30, 2005, 横須賀市和田長浜海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 山田撮影。

相模湾では, 三崎周辺の定置網(山田, 1990), 西湘地区の定置網(林・西山, 1980)などから記録がある。

ウナギ目
Anguilliformes

アナゴ科
Congridae

ゴテンアナゴ
***Ariosoma meeki* (Jordan & Snyder, 1900)**

(図 2-E)

KPM-NR 219886, 約 800 mm TL, Nov. 5, 2012, 油壺, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 江ノ島から大磯の砂浜域(亀井, 1979), 三崎周辺の定置網(山田, 1990)などから記録がある。

当該個体は, 眼の後縁に上下 2 個の暗褐色斑が認められることから本種と同定された。

マアナゴ

***Conger myriaster* (Brevoort, 1856)**

(図 2-F)

YCM-P 46590, 5 個体, 96.9–102.8 mm TL, Jan. 20, 2020, 葉山沖, 水深 10 m, しらす船びき網。工藤採集。

工藤・岡部(1991)で目視観察に基づき標本未収集のまま報告したが, 標本が得られたため改めて報告する。

標本個体はレプトケファルス幼生で, 肛門前筋節数と全筋節数との比(PAM/TM)が, 採集された 5 個体全てが変態期の指標である 0.79 を下回っており, 変態期の幼生であると判断された。

ヒメ目
Aulopiformes

エソ科
Synodontidae

マドラエソ
***Saurida gracilis* (Quoy & Gaimard, 1824)**

(図 2-G)

KPM-NR 219905, 約 150 mm SL, Sept. 9, 2013, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 3 m, 山田撮影。

相模湾では, 静岡県川奈(KPM-NR 35996)をはじめとする伊豆半島東岸, 千葉県館山湾(KPM-NR 184165)から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

マエソ

***Saurida macrolepis* Tanaka, 1917**

(図 2-H)

YCM-P 46585, 98.2 mm SL, Jan. 20, 2020, 葉山沖, しらす船びき網, 水深 10 m, 工藤採集。

相模湾では, 長井沖人工魚礁(清水・永田, 1982), 江ノ島から大磯の砂浜域(亀井, 1979), 西湘地区の定置網(林・西山, 1980)などの多くの記録がある。

アカエソ
***Synodus ulae* Schultz, 1953**

(図 2-I)

KPM-NR 219876, 約 200 mm SL, Sept. 22, 2021, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 横須賀市天神島・笠島(林・伊藤, 1974; 林ほか, 2000), 三崎周辺の定置網(山田・工藤, 2000), 千葉県館山湾(木村ほか, 2004)などの多くの

記録がある。

オキエソ

Trachinocephalus trachinus (Temminck & Schlegel, 1846)

(図 2-J)

YCM-P 46587, 39.9 mm SL, Jan. 20, 2020, 葉山沖, しらす船びき網, 水深 10 m, 工藤採集。

標本個体は浮遊期の稚魚で、腹腔内に 6 個の黒色素胞が並ぶことから本種と同定された。

工藤・岡部 (1991) で目視観察に基づき標本未収集のまま報告したが、標本が得られたため改めて報告する。

ミズウオ科

Alepisauridae

ミズウオ

Alepisaurus ferox Lowe, 1833

(図 3-A)

KPM-NR 219906, 約 800.0 mm SL, Apr. 29, 2005, 城ヶ島大橋下, 漂着個体, 山田採集。

相模湾では、茅ヶ崎 (KPM-NI 2026) と真鶴半島 (KPM-NI 3618) で漂着標本が得られている。

標本個体は、三崎漁港に面した砂浜に漂着していた。

キンメダイ目

Beryciformes

イトウダイ科

Holocentridae

ウケグチイトウダイ

Neoniphon sammara (Forsskal, 1775)

(図 3-B)

KPM-NR 219878, 約 60 mm SL, Jan. 23, 2020, 城ヶ島大橋下, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田撮影。

当該個体は、背鰭棘条部の最終棘が第 1 軟条にかなり接近しかつ直前の棘よりも長いこと、背鰭棘条部の第 1-3 鰭膜に大きな黒斑があること、臀鰭軟条数が 8 であることから本種と同定された。

紀伊半島以南の太平洋沿岸、小笠原諸島、琉球列島に分布するとされており、相模湾からは初記録となる。

クロオビエビス

Sargocentron praslin (Lacepède, 1802)

(図 3-C)

KPM-NR 219900, 約 50 mm SL, Sept. 18, 2005, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1.5 m, 山田撮影。

当該個体は、背鰭棘条部の鰭膜上半分と基部が黒く、体背側面に 5 本の暗赤色縦帯があることから本種と同定された。

高知県以南の太平洋沿岸、琉球列島に分布するとされており、相模湾では鎌倉市和賀江島 (KPM-NR 207645) から記録がある。

トゲウオ目

Gasterosteiformes

カミソリウオ科

Solenostomidae

カミソリウオ

Solenostomus cyanopterus Bleeker, 1854

(図 3-D)

KPM-NR 219882, 約 50 mm SL, Oct. 18, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では、横須賀市小田和湾 (清水, 1979)、静岡県伊豆海洋公園 (瀬能, 1994) をはじめとする伊豆半島東岸から記録がある。

ヨウジウオ科

Syngnathidae

タカクラタツ

Hippocampus trimaculatus Leach, 1814

(図 3-E)

KPM-NI 66067 (=KPM-NR 218147, 三井撮影), 105.1 mm TL, Dec. 29, 2011, 葉山町一色海岸, 水面下, 手網, 三井採集。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが、標本が得られたため改めて報告する。

ダイダイヨウジ

Maroubra yasudai Dawson, 1983

(図 3-F)

KPM-NR 218108, 約 160 mm SL, Oct. 5, 2000, 城ヶ島岩骨, スキューバダイビング, 水深 20 m, 工藤撮影。

本種の分布域は伊豆半島東岸・西岸、伊豆大島に局限されており、相模湾を特徴づける魚類である。

相模湾では、静岡県熱海 (瀬能ほか, 1998) ほかの伊豆半島東岸、千葉県館山湾 (KPM-NR 193059 ほか)、伊豆大島 (KPM-NR 50805 ほか) から記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

ハチジョウボウヨウジ

Phoxocampus diacanthus (Schultz, 1943)

(図 3-G)

YCM-P 46596, 89.4 mm SL, Aug. 29, 2021, 城ヶ島大橋下, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田博和採集。

標本個体は、駆幹部中央隆起線が最終駆部輪で終わること、総体輪数が 42 であることから本種と同定された。

本種は伊豆諸島、屋久島、沖縄諸島以南の琉球列島に

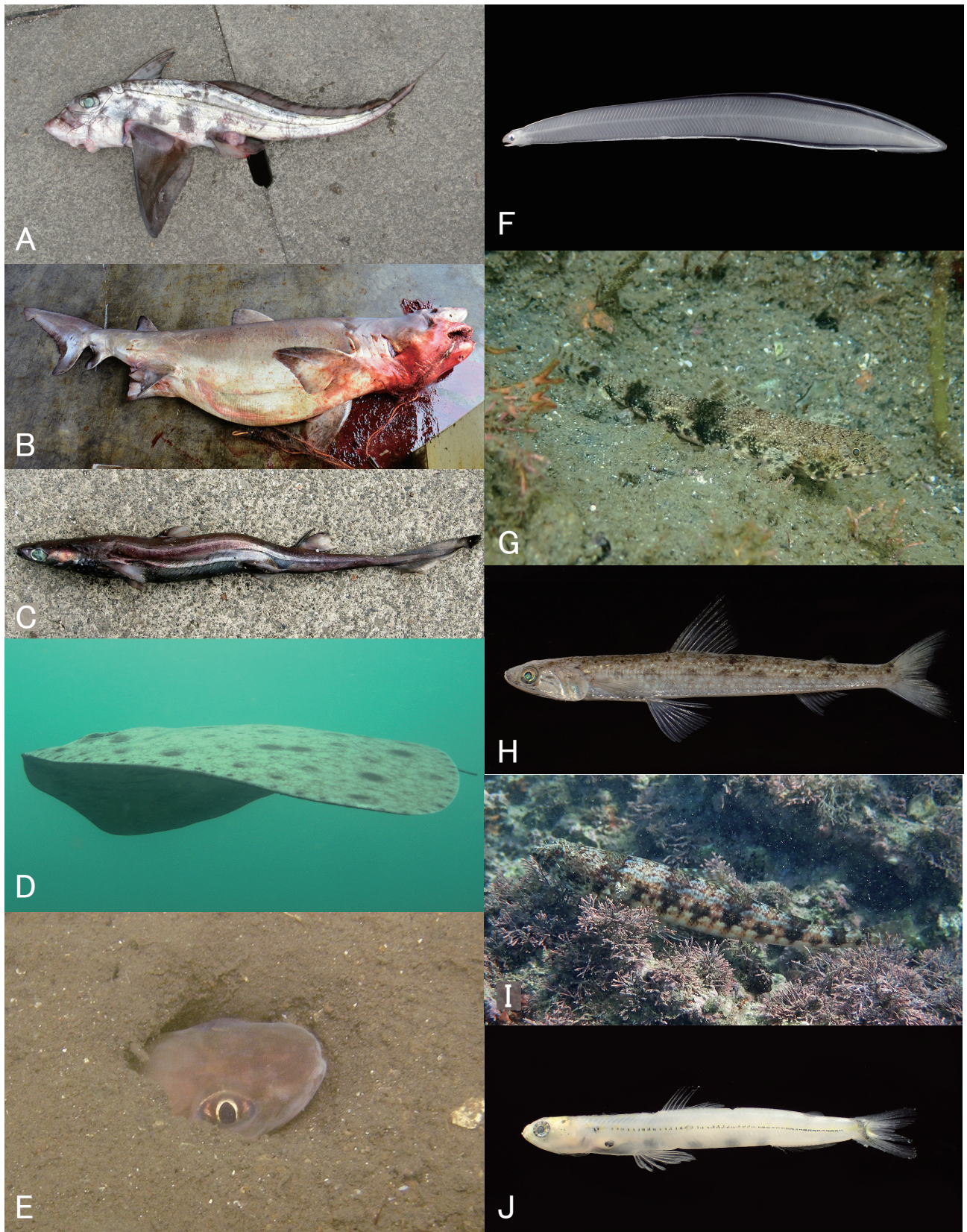


図 2. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類. A: KPM-NR 219868, ギンザメ *Chimaera phantasma*, 城ヶ島沖, 水深約 100 m, 約 800 mm TL, 山田撮影; B: KPM-NR 219872, オオワニザメ *Odontaspis ferox*, 松輪沖, 水深約 50 m, 3400 mm TL, 工藤撮影; C: KPM-NR 219869, ヒレタカフジクジラ *Etmopterus mollerii*, 城ヶ島沖, 水深約 100 m, 約 300 mm TL, 山田撮影; D: KPM-NR 219896, ツバクロエイ *Gymnura japonica*, 横須賀市和田長浜海岸, 水深 3 m, 約 1800 mm DW, 山田撮影; E: KPM-NR 219886, ゴテンアナゴ *Ariosoma meeki*, 油壺, 水深 2 m, 約 800 mm TL, 山田撮影; F: YCM-P 46590, マアナゴ *Conger myriaster*, 葉山沖, 102.8 mm TL, 工藤撮影; G: KPM-NR 219905, マダラエソ *Saurida gracilis*, 城ヶ島長津呂, 水深 3 m, 約 150 mm SL, 山田撮影; H: YCM-P 46585, マエソ *Saurida macrolepis*, 葉山沖, 98.2 mm SL, 工藤撮影; I: KPM-NR 219876, アカエソ *Synodus ulae*, 小網代湾洞網海岸, 水深 2 m, 約 200 mm SL, 山田撮影; J: YCM-P 46587, オキエソ *Trachinocephalus trachinus*, 葉山沖, 39.9 mm SL, 工藤撮影.

分布するとされ、相模湾では伊豆大島（KPM-NR 92089）から記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

ダツ目
Beloniformes

トビウオ科
Exocoetidae

カラストビウオ
***Cypselurus cyanopterus* (Valenciennes, 1847)**
(図 3-H)

KPM-NR 219883, 約 80 mm SL, Aug. 30, 2020, 荒崎海岸, 水面下, 大澤晶子撮影。

本種は若狭湾, 伊豆諸島, 高知県以布利, 種子島・屋久島, 琉球列島に分布するとされるが、沖合表層域を生活圏としており分布情報は乏しい。

当該個体は、タイドプールに吹き溜まった漂着物の中から見いだされ、胸鰭が一樣に青黒色であることから容易に本種と同定された。相模湾初記録となる。

スズキ目
Perciformes

メバル科
Sebastidae

シロメバル
***Sebastes cheni* Barsukov, 1988**
(図 4-A)

KPM-NR 218113, 約 180 mm SL, Nov. 4, 2011, 城ヶ島水産技術センター前, スキンダイビング, 水深 4 m, 工藤撮影。

相模湾では、油壺（KPM-NR 53501 ほか）をはじめとする神奈川県沿岸, 伊豆海洋公園（KPM-NR 76479 ほか）をはじめとする静岡県伊豆半島東岸, 千葉県館山湾（下光ほか, 2019）などの記録がある。

トゴットメバル
***Sebastes joyneri* Günther, 1878**
(図 4-B)

KPM-NR 218111, 約 100 mm SL, Dec. 2, 1999, 城ヶ島へいづ根, スキューバダイビング, 水深 17 m, 工藤撮影。

相模湾では、横須賀市天神島・笠島（林・伊藤, 1974）, 長井沖人工魚礁（清水・永田, 1982）, 千葉県館山湾（木村ほか, 2004）などの記録がある。

クロメバル
***Sebastes ventricosus* Temminck & Schlegel, 1843**
(図 4-C)

KPM-NR 219909, 約 40 mm SL, Nov. 1, 2012, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

当該個体はトゴットメバル *S. joyneri* に酷似するが、体側背縁に並ぶ黒斑に濃淡が認められその縁辺がぼやけることから（同サイズのトゴットメバルの黒斑は輪郭が明瞭で様に黒い）区別された。

相模湾では、金田湾（KPM-NR 58901）をはじめとする三浦半島沿岸, 静岡県伊豆半島東岸（KPM-NR 39518 ほか）, 千葉県館山湾（下光ほか, 2019）, 伊豆大島（KPM-NR 90513）などから記録がある。

フサカサゴ科
Scorpaenidae

セトミノカサゴ
***Parapterois heterura* (Bleeker, 1856)**
(図 4-D)

KPM-NR 219892, 約 120 mm SL, Sept. 8, 2021, 小網代湾横堀海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では、江ノ島から大磯の砂浜域（亀井, 1979）, 西湘地区の定置網（林・西山, 1980）などから記録がある。

グアムカサゴ
***Scorpaenodes guamensis* (Quoy & Gaimard, 1824)**
(図 4-E)

YCM-P 46575, 42.0 mm SL, Oct. 1, 2019, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1 m, 工藤採集。

標本個体は、頬部（眼下骨系）に 3 棘があり、背鰭軟条数は 8, 主鰓蓋部に主鰓蓋骨上方棘で二分される暗色斑を有し、側線上方鱗の横列数（LSS）は 43 であることなどから本種と同定された。

八丈島, 屋久島, 伊江島, 宮古諸島, 西表島に分布するとされ、相模湾初記録となる。

セミホウボウ科
Dactylopteridae
セミホウボウ
***Dactyloptena orientalis* (Cuvier, 1829)**
(図 4-F)

KPM-NR 219893, 約 150 mm SL, Oct. 1, 2012, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

横須賀市天神島・笠島（林・伊藤, 1974）, 三崎周辺の定置網（山田・工藤, 1992）, 千葉県館山湾（萩原・木村, 2005）などから記録がある。

ホタルジャコ科
Acropomatidae
スミクイウオ
***Synagrops japonicus* (Döderlein, 1883)**
(図 4-G)



図 3. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類. A: KPM-NR 219906, ミズウオ *Alepisaurus ferox*, 城ヶ島大橋下, 漂着個体, 約 800 mm SL, 山田撮影; B: KPM-NR 219878, ウケグチイトウダイ *Neoniphon sammara*, 城ヶ島大橋下, 水深 1 m, 約 60 mm SL, 山田撮影; C: KPM-NR 219900, クロオビエビス *Sargocentron praslin*, 城ヶ島長津呂, 水深 1.5 m, 約 50 mm SL, 山田撮影; D: KPM-NR 219882, カミソリウオ *Solenostomus cyanopterus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 50 mm SL, 山田撮影; E: KPM-NR 218147, タカクラタツ *Hippocampus trimaculatus*, 葉山町一色海岸, 水面下, 105.1 mm TL, 三井撮影; F: KPM-NR 218108, ダイダイヨウジ *Maroubra yasudai*, 城ヶ島岩骨, 水深 20 m, 約 160 mm SL, 工藤撮影; G: YCM-P 46596, ハチジョウボウヨウジ *Phoxocampus diacanthus*, 城ヶ島大橋下, 水深 2 m, 89.4 mm SL, 山田撮影; H: KPM-NR 219883, カラストビウオ *Cypselurus cyanopterus*, 荒崎海岸タイドプール, 約 80 mm SL, 大澤晶子撮影.

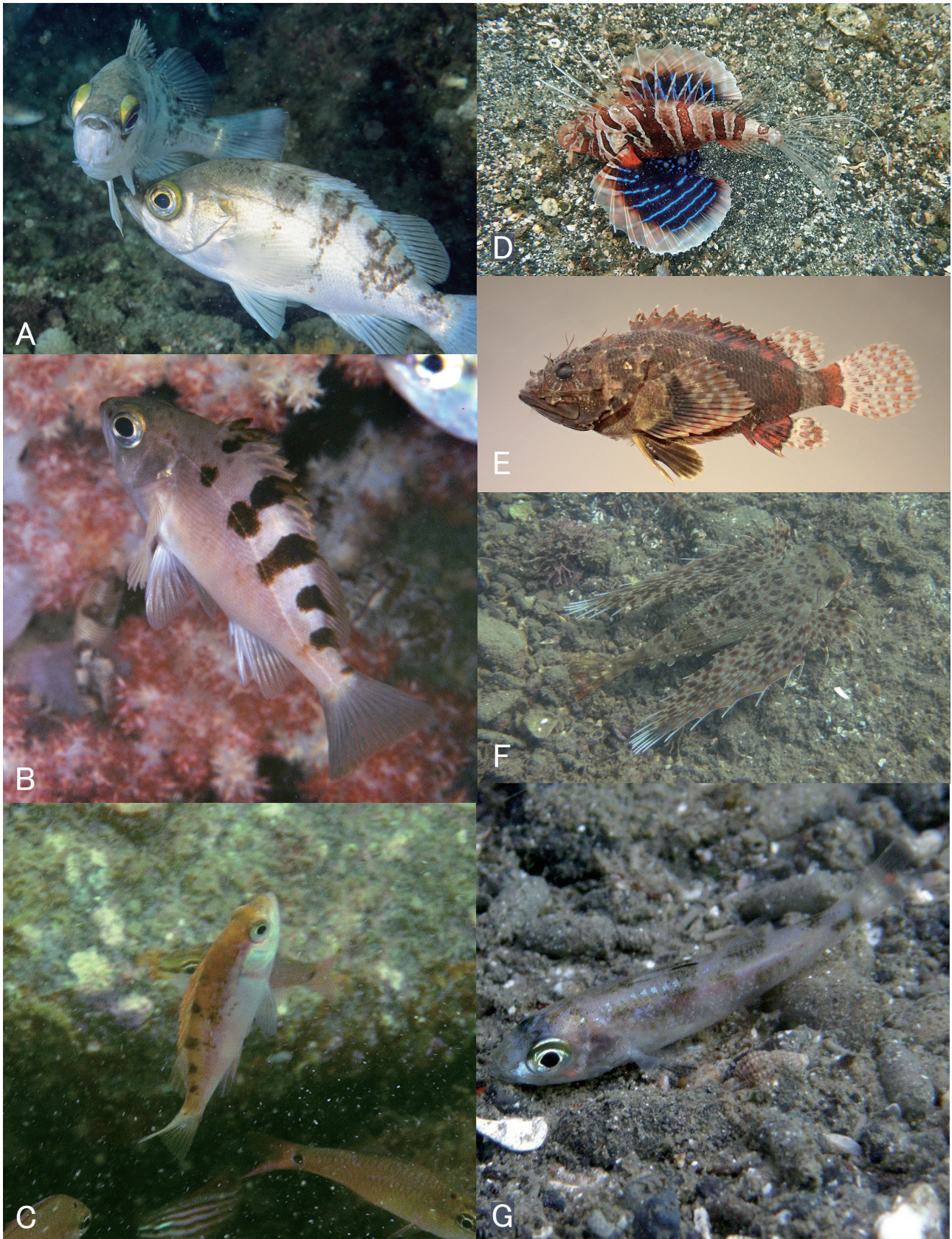


図 4. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NR 218113, シロメバル *Sebastes cheni*, 城ヶ島水試前, 水深 4 m, 約 180 mm SL, 工藤撮影 ; B: KPM-NR 218111, トゴットメバル *Sebastes joyneri*, 城ヶ島へいぶ根, 水深 17 m, 約 100 mm SL, 工藤撮影 ; C: KPM-NR 219909, クロメバル *Sebastes ventricosus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 40 mm SL, 山田撮影 ; D: KPM-NR 219892, セトミノカサゴ *Parapterois heterura*, 小網代湾横堀海岸, 水深 2 m, 約 120 mm SL, 山田撮影 ; E: YCM-P 46575, グラムカサゴ *Scorpaenodes guamensis*, 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, 42.0 mm SL, 工藤撮影 ; F: KPM-NR 219893, セミホウボウ *Dactyloptena orientalis*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 150 mm SL, 山田撮影 ; G: KPM-NR 219889, スミクイウオ *Synagrops japonicus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 80 mm SL, 山田撮影 .

KPM-NR 219889, 約 80 mm SL, Jan. 28, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 西湘の定置網 (林・西山, 1980), 三崎周辺の定置網 (山田, 1990), 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005) などから記録がある。

本種は相模湾の水深 30 m 以深に設置された定置網でしばしば漁獲されるが, 当該個体は水深 2 m で撮影されており, ごく浅海域における出現例として注目される。

ハタ科
Serranidae
アオノメハタ

***Cephalopholis argus* Bloch & Schneider, 1801**
(図 5-A)

YCM-P 46559, 40.2 mm SL, Oct. 1, 2019, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 3 m, 工藤採集。

相模湾では, 伊豆大島で生態写真が撮影されているが (KPM-NR 164542 ほか), 標本に基づくものとしては相模湾初記録となる。

標本個体は, 水深 3 m の岩壁に空いた径 2 cm ほどの穴の中から採集された。

ユカタハタ
***Cephalopholis miniata* (Forsskal, 1775)**
(図 5-B)

YCM-P 46567, 47.1 mm SL, Oct. 24, 2020, 小網代湾ヨットハーバー前, スキンダイビング, 水深 2 m, 工藤採集。

相模湾では, 静岡県伊豆半島東岸 (KPM-NR 148848 ほか) と千葉県館山湾 (KPM-NR 184164 ほか) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

標本個体は, 砂地の上に積み重なった転石の下から採集された。

キジハタ
***Epinephelus akaara* (Temminck & Schlegel, 1843)**
(図 5-C)

YCM-P 46569, 27.5 mm SL, Oct. 24, 2020, 小網代湾ヨットハーバー前, スキンダイビング, 水深 2 m, 工藤採集。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが, 標本が得られたため改めて報告する。

シロブチハタ
***Epinephelus maculatus* (Bloch, 1790)**
(図 5-D)

KPM-NR 218134, 約 45 mm SL, Oct. 28, 2020, 小網代湾網海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 門田撮影。

相模湾では, 静岡県伊豆半島東岸 (KPM-NR 80723,

181630) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

カンモンハタ
***Epinephelus merra* Bloch, 1793**
(図 5-E)

KPM-NR 218126, 約 55 mm SL, Nov. 8, 2020, 小網代湾横堀海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 門田撮影。

相模湾では, 三浦半島沿岸のタイドプール (中村, 1970), 伊豆大島 (KPM-NR 164377) から記録がある。

モヨウハタ
***Epinephelus quoyanus* (Valenciennes, 1830)**
(図 5-F)

YCM-P 46573, 80.1 mm SL, Nov. 15, 2020, 荒崎海岸, 手網, 水深 0.3 m, 山川宇宙採集。

相模湾では, 三崎 (Jordan & Thompson, 1914), 横須賀市天神島・笠島 (林・伊藤, 1974), 伊豆大島 (KPM-NR 98668) から記録がある。

標本個体は, 夜間にタイドプールの岩の下から採集された。

トゲハナスズキ
***Liopropoma japonicum* (Döderlein, 1883)**
(図 5-G)

YCM-P 46383, 183.5 mm SL, Mar. 16, 2017, 城ヶ島西南西沖 釣り, 水深 140 m, 篠原 元採集。

小笠原諸島, 相模湾～鹿児島県の太平洋沿岸, 奄美諸島, 沖縄島, 宮古島, 長崎, 東シナ海大陸棚縁辺～斜面域の水深 90–220 m の岩礁に分布する。

相模湾では, 江ノ島 (Jordan & Thompson, 1914) から記録があり, 標本個体は, 水深 140 m の岩礁帯から, ハナスズキ *L. maculatum* とともに釣獲された。

ハナスズキ
***Liopropoma maculatum* (Döderlein, 1883)**
(図 5-H)

YCM-P 46382, 146.7 mm SL, Mar. 16, 2017, 城ヶ島西南西沖 釣り, 水深 140 m, 篠原 元採集。

駿河湾, 土佐湾, 沖縄, 九州－パラオ海嶺, 小笠原諸島の水深 100–400 m の岩礁や海嶺に分布する。

標本個体は, 水深 140 m の岩礁帯から, トゲハナスズキ *L. japonicum* とともに釣獲され, 相模湾初記録となる。

カシワハナダイ
***Pseudanthias cooperi* (Regan, 1902)**
(図 5-I)

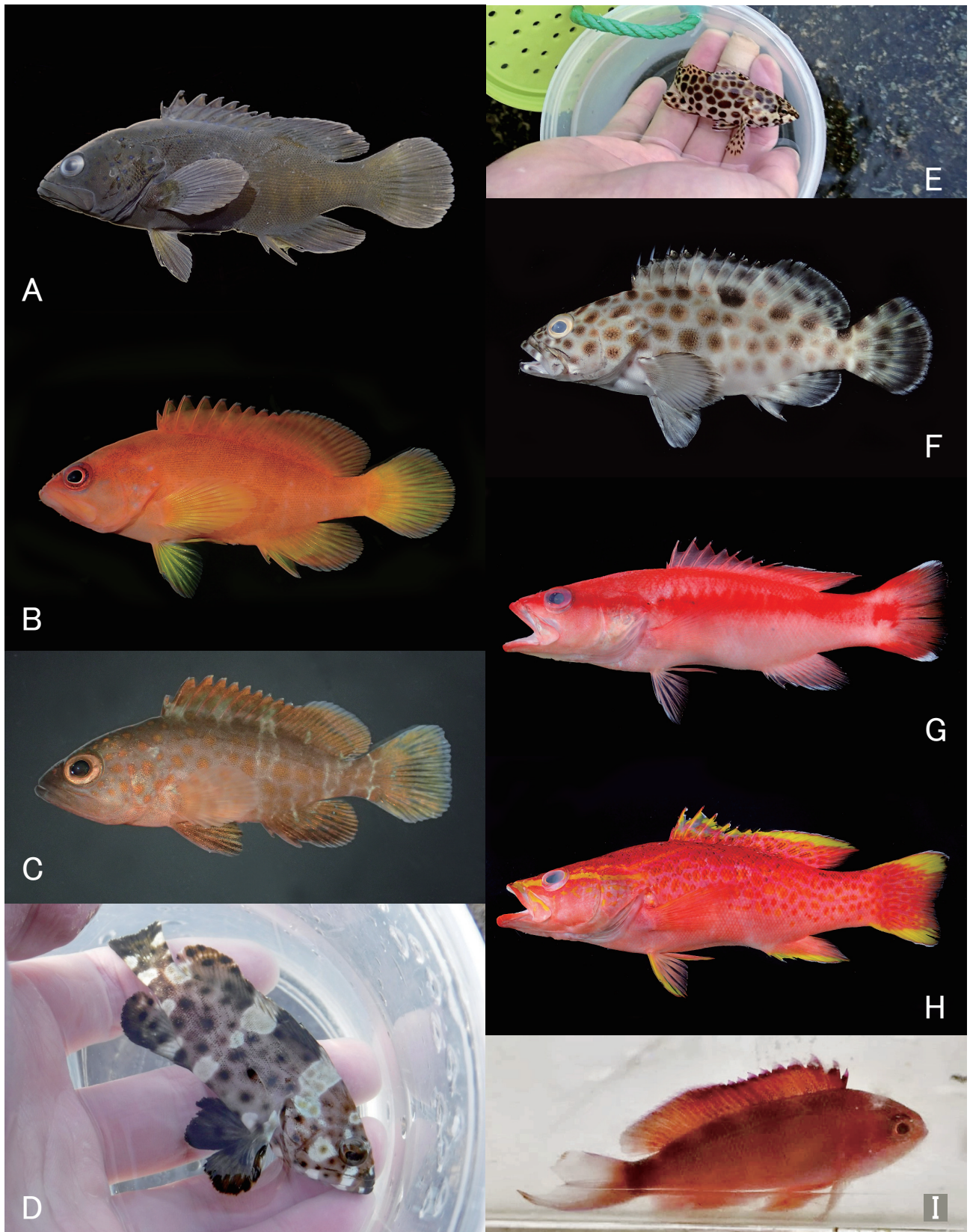


図 5. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類. A: YCM-P 46559, アオノメハタ *Cephalopholis argus*, 城ヶ島長津呂, 水深 3 m, 40.2 mm SL, 工藤撮影; B: YCM-P 46567, ユカタハタ *Cephalopholis miniata*, 小網代湾ヨットハーバー前, 47.1 mm SL, 工藤撮影; C: YCM-P 46569, キジハタ *Epinephelus akaara*, 小網代湾ヨットハーバー前, 27.5 mm SL, 工藤撮影; D: KPM-NR 218134, シロブチハタ *Epinephelus maculatus*, 小網代湾洞網海岸, 水深 3 m, 約 45 mm SL, 門田撮影; E: KPM-NR 218126, カンモンハタ *Epinephelus merra*, 小網代湾横堀海岸, 水深 3 m, 約 55 mm SL, 門田撮影; F: YCM-P 46573, モヨウハタ *Epinephelus quoyanus*, 荒崎海岸, 80.1 mm SL, 工藤撮影; G: YCM-P 46383, トゲハナスズキ *Liopropoma japonicum*, 城ヶ島西南西沖, 水深 140 m, 183.5 mm SL, 工藤撮影; H: YCM-P 46382, ハナスズキ *Liopropoma maculatum*, 城ヶ島西南西沖, 水深 140 m, 146.7 mm SL, 工藤撮影; I: KPM-NR 219870, カシワハナダイ *Pseudanthias cooperi*, 小網代湾洞網海岸, 水深 3 m, 50 mm SL, 並木 涼撮影.

KPM-NR 219870, 約 50 mm SL, June 3, 2020, 小網代湾洞網海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 並木 涼採集。

相模湾では, 静岡県富戸 (KPM-NR 29887 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 伊豆大島 (KPM-NR 62491 ほか) から記録があり, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

キントキダイ科

Priacanthidae

ハウセキキントキ

Priacanthus hamrur (Forsskal, 1775)

(図 6-A)

KPM-NR 219887, 約 100 mm SL, Aug. 4, 2021, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが, 生体写真が撮影されたため改めて報告する。

テンジクダイ科

Apogonidae

アカフジテンジクダイ

Apogon crassiceps Garman, 1903

(図 6-B,C)

YCM-P 46646 (=KPM-NR 219877, 山田撮影), 30.0 mm SL, Nov. 2, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1.5 m, 山田採集。

標本個体は夜間に採集され, 吻端が丸く, 生時は体の透明感が高く体側鱗の後縁部のみが赤褐色 (固定後は消失し体は乳白色), 側線上方横列鱗数は 1.5 枚, 尾柄部側線上に不明瞭な縦帯があることから本種と同定された。

屋久島, 奄美大島, 久米島の水深 5 m 付近のサンゴ礁や岩礁に分布するとされており, 相模湾では伊豆大島 (KPM-NR 73377) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

モンツキイシモチ

Apogonichthyoides melas (Bleeker, 1848)

(図 6-D)

YCM-P 46560, 42.5 mm SL, Dec. 6, 2019, 三崎漁港北条湾, 水深 6 m, 釣り, 碧木健人採集。

標本個体は, 体側に縦帯がなく, 第 1 背鰭が 7 棘, 尾鰭は浅く二又し, 第 2 背鰭と臀鰭に黒色斑をもつことなどから本種と同定された。

和歌山県串本, 琉球列島のサンゴ礁の内湾に分布する。相模湾からは初記録となる。

ミナミフトスジイシモチ

Ostorhinchus nigrofasciatus (Lachner, 1953)

(図 6-E)

KPM-NR 218142, 約 25 mm SL, July 10, 2021, 小網代湾洞網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが, 標本が得られたため改めて報告する。

ミスジテンジクダイ

Ostorhinchus taeniophorus (Regan, 1908)

(図 6-F)

KPM-NI 66079 (=KPM-NR 218159, 三井撮影), 28.7 mm SL, Sept. 22, 2019, 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, スキンダイビング, 三井採集; KPM-NI 66084 (=KPM-NR 218164, 三井撮影), 59.1 mm SL, Nov. 18, 2020, 荒崎海岸, 手網, 水深 0.7 m, 三井採集。

相模湾では, 鎌倉市和賀江島 (KPM-NR 211429), 静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NR 167796 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005), 伊豆大島 (KPM-NR 70225 ほか) などから記録がある。

フエダイ科

Lutjanidae

バラフエダイ

Lutjanus bohar (Forsskal, 1775)

(図 6-G)

KPM-NR 219901, 約 60 mm SL, Sept. 1, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 3 m, 山田撮影。

相模湾では, 伊豆大島 (瀬能ほか, 1994), 千葉県館山湾 (KPM-NR 201232) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

イッテンフエダイ

Lutjanus monostigma (Cuvier, 1828)

(図 6-H)

KPM-NI 66069 (=KPM-NR 218149, 三井撮影), 21.5 mm SL, Sept. 30, 2019, 佐島漁港, 手網, 水面下, 三井・三井純子採集。

相模湾では, 釧崎のタイドプール (KPM-NR 164286 ほか), 静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NR 6172 ほか) から記録がある。

ロクセンフエダイ

Lutjanus quinquelineatus (Bloch, 1790)

(図 6-I, J)

YCM-P 46595 (=KPM-NR 219908, 山田撮影), 48.8 mm SL, Nov. 26, 2020, 城ヶ島大橋下, スキンダイビング, 水深 3 m, 山田採集。

相模湾では, 静岡県富戸 (KPM-NR 24782 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 伊豆大島 (Jordan & Thompson, 1914; 岩槻, 2005) から記録がある。



図 6. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類. A: KPM-NR 219887, ホウセキキントキ *Priacanthus hamrur*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 100 mm SL, 山田撮影; B (YCM-P 46646) & C (KPM-NR 219877): アカフジテンジクダイ *Apogon crassiceps*, 城ヶ島長津呂, 水深 1.5 m, 30 mm SL, 山田撮影; D: YCM-P 46560, モンツキイシモチ *Apogonichthyoides melas*, 三崎漁港北条湾, 42.5 mm SL, 工藤撮影; E: KPM-NR 218142, ミナミフトスジイシモチ *Ostorhinchus nigrofasciatus*, 小網代湾洞網海岸, 水深 2 m, 約 25 mm SL, 門田撮影; F: KPM-NR 218164, ミスジテンジクダイ *Ostorhinchus taeniophorus*, 荒崎海岸, 水深 0.7 m, 59.1 mm SL, 三井撮影; G: KPM-NR 219901, パラフエダイ *Lutjanus bohar*, 城ヶ島長津呂, 水深 3 m, 約 60 mm SL, 山田撮影; H: KPM-NI 66069, イッテンフエダイ *Lutjanus monostigma*, 佐島漁港, 水面下, 21.5 mm SL, 三井撮影; I (YCM-P 46595) & J (KPM-NR 219908), ロクセンフエダイ *Lutjanus quinquelineatus*, 城ヶ島大橋下, 水深 3 m, 48.8 mm SL, 山田撮影.

イトヨリダイ科

Nemipteridae

フタスジタマガシラ

Scolopsis bilineata (Bloch, 1793)

(図 7-A)

KPM-NR 218145, 約 40 mm SL, Aug. 28, 2021, 小網代湾横堀海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

相模湾では, 静岡県下田 (KPM-NR 66088 ほか), 伊豆海洋公園 (KPM-NR 76561 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 伊豆大島 (KPM-NR 66088 ほか) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

タイ科

Sparidae

チダイ

Evynnis tumifrons (Bloch, 1793)

(図 7-B)

YCM-P 46583, 2 個体, 30.1–32.8 mm SL, Jan. 20, 2020, 葉山沖, しらす船びき網, 水深 10 m, 工藤採集。

相模湾では, 横須賀市天神島・笠島 (林・伊藤, 1974), 小田和湾 (清水, 1979), 三崎周辺の定置網 (山田, 1990) など多くの記録がある。

ヘダイ

Rhabdosargus sarba (Forsskal, 1775)

(図 7-C)

KPM-NR 219904, 約 200 mm SL, Dec. 15, 2020, 城ヶ島大橋下, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田撮影。

工藤・岡部 (1991) で目視観察に基づき報告したが, 生態写真が撮影されたので改めて報告する。

フエフキダイ科

Lethrinidae

メイチダイ

Gymnocranius griseus (Forsskal, 1775)

(図 7-D)

KPM-NR 218121, 約 120 mm SL, Nov. 1, 2001, 芦名沖オオツブ根, スキューバダイビング, 水深 20 m, 工藤撮影。

相模湾では, 横須賀市天神島・笠島 (林, 1977), 西湘地区の定置網 (林・西山, 1980), 熱海 (瀬能ほか, 1998) などの記録がある。

調査海域では稀ではなく, 特に 2018 年以降は水深 5 m 以浅における稚幼魚の出現が目立つが, 本調査では標本が得られていない。

ヒメジ科

Mullidae

ウミヒゴイ

Parupeneus chrysopleuron (Temminck & Schlegel, 1843)

(図 7-E)

KPM-NR 218122, 約 45 mm SL, Nov. 1, 2001, 芦名沖オオツブ根, スキューバダイビング, 水深 18 m, 工藤撮影。

相模湾では, 小田和湾 (清水, 1979), 三崎周辺の定置網 (山田, 1990), 熱海 (瀬能ほか, 1998) などからの記録がある。

フタスジヒメジ

Parupeneus crassilabris (Valenciennes, 1831)

(図 7-F)

KPM-NR 218110, 約 40 mm SL, Sept. 26, 1999, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 工藤撮影。

相模湾では, 釧崎のタイドプール (KPM-NR 184153), 静岡県下田 (KPM-NR 84069) から記録がある。

チョウチョウオ科

Chaetodontidae

スミツキトノサマダイ

Chaetodon plebeius Cuvier, 1831

(図 7-G)

KPM-NR 219891, 約 20 mm SL, July 16, 2021, 油壺, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田撮影。

当該個体は, 体色が一樣に黄色く, 尾柄部に白い縁取りがある黒斑を有し, 本種の体側に水色斑が現れる前のステージと考えられた。この斑紋パターンはレモンチョウチョウオ *C. semeion* とほぼ同じだが同種のこのステージの色斑は知られていない。

本種は, 伊豆諸島, 小笠原諸島, 静岡県田子, 和歌山県串本, 高知県柏島, 熊本県天草, 男女群島, 鹿児島県笠沙, 屋久島, 琉球列島, 南大東島に分布するとされ, 相模湾初記録となる。

チョウチョウオ属の 1 種

Chaetodon sp.

(図 7-H)

KPM-NR 219890, 約 10 mm SL, Sept. 10, 2016, 油壺, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田撮影。

当該個体は, 体が一樣に黄色く, 体側後半部に輪郭が不明瞭な黒斑を有する。トノサマダイ *C. speculum* に似るが, 臀鰭基部から尾柄部に向かう黒色帯がないこと, 体側の黒斑の形や大きさが異なることなどから別種と判断されたが, 同定には至らなかった。

キンチャクダイ科

Pomacanthidae

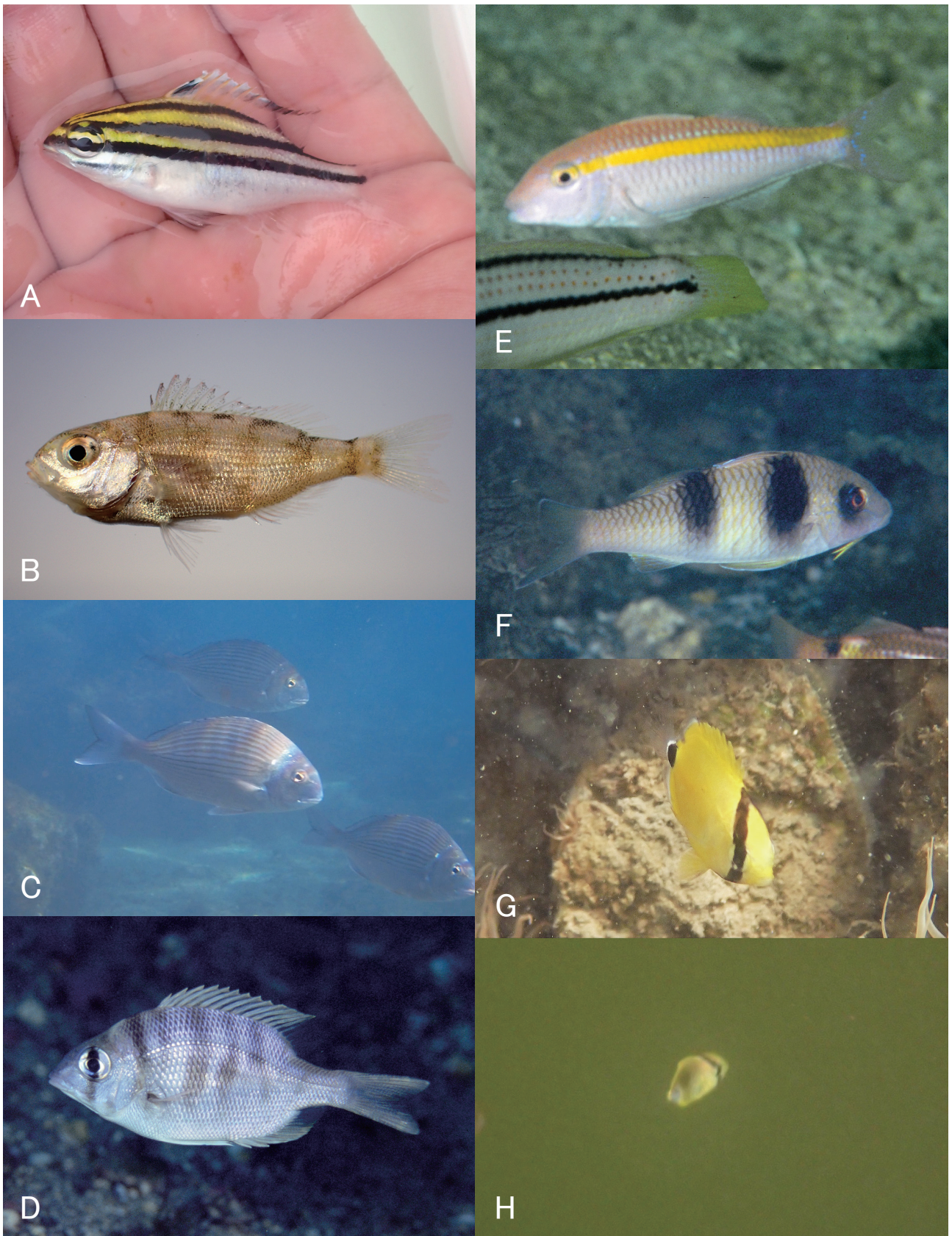


図 7. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NR 218145, フタスジタマガシラ *Scolopsis bilineata*, 小網代湾横堀海岸, 水深 2 m, 約 40 mm SL, 門田撮影 ; B: YCM-P 46583, チダイ *Evynnis tumifrons*, 葉山沖, 水深 10 m, しらす船びき網, 32.8 mm SL, 工藤撮影 ; C: KPM-NR 219904, ヘダイ *Rhabdosargus sarba*, 城ヶ島大橋下, 水深 1 m, 約 200 mm SL, 山田撮影 ; D: KPM-NR 218121, メイチダイ *Gymnocranius griseus*, 芦名沖オオツブ根, 水深 20 m, 約 120 mm SL, 工藤撮影 ; E: KPM-NR 218122, ウミヒゴイ *Parupeneus chrysopleuron*, 芦名沖オオツブ根, 水深 18 m, 約 45 mm SL, 工藤撮影 ; F: KPM-NR 218110, フタスジヒメジ *Parupeneus crassilabris*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 40 mm SL, 工藤撮影 ; G: KPM-NR 219891, スミツキトノサマダイ *Chaetodon plebeius*, 油壺, 水深 1 m, 約 20 mm SL, 山田撮影 ; H: KPM-NR 219890, チョウチョウウオ属の 1 種 *Chaetodon* sp., 油壺, 水深 1 m, 約 10 mm SL, 山田撮影 .

チャイロヤッコ

Centropyge fisheri (Snyder, 1904)

(図 8-A)

YCM-P 46572, 34.6 mm SL, Oct. 12, 2020, 城ヶ島梶ノ浜, スキンダイビング, 水深 6 m, 工藤採集; KPM-NR 218137, 約 30 mm SL, Sept. 13, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 門田撮影。

相模湾では, 静岡県伊豆海洋公園 (益田, 1990) をはじめとする伊豆半島東岸, 伊豆大島 (瀬能・大沼, 2000) などの記録がある。

アカネキンチャクダイ

Chaetodontoplus chrysocephalus (Bleeker, 1855)

(図 8-B)

KPM-NR 218118, 約 130 mm SL, Apr. 28, 2001, 逗子沖オオタカ根, スキューバダイビング, 水深 18 m, 工藤撮影。

相模湾では, 横須賀市天神島 (林, 1982), 静岡県熱海 (瀬能ほか, 1998), 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005) などの記録がある。

タテジマキンチャクダイ

Pomacanthus imperator (Bloch, 1787)

(図 8-C)

KPM-NR 218136, 約 25 mm SL, Nov. 17, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 門田撮影。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが, 標本が得られたため改めて報告する。

ゴンベ科

Cirrhitidae

サラサゴンベ

Cirrhitichthys falco Randall, 1963

(図 8-D)

KPM-NR 218132, 約 50 mm SL, Oct. 5, 2019, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影; KPM-NR 218133, 約 55 mm SL, July 10, 2021, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 門田撮影。

相模湾では, 静岡県富戸 (鈴木, 1995) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

ヒメゴンベ

Cirrhitichthys oxycephalus (Bleeker, 1855)

(図 8-E)

KPM-NR 218139, 約 55 mm SL, Nov. 15, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影; KPM-NR 219902, 約 40 mm SL, Oct. 30, 2019, 小網代湾, 手掴み,

水深 1 m, 出口 浩・山田採集, 山田撮影。

相模湾では, 静岡県富戸 (鈴木, 1995), 千葉県館山湾 (下光ほか, 2019) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

KPM-NR 219902 は直底間もない小型個体で, 小網代湾内に設置されたアコヤガイの垂下養殖籠の中から発見された。

スズメダイ科

Pomacentridae

ハマクマノミ

Amphiprion frenatus Brevoort, 1856

(図 8-F)

KPM-NR 218112, 約 60 mm SL, Nov. 18, 2010, 城ヶ島梶ノ浜, スキューバダイビング, 水深 7 m, 工藤撮影。

当該個体は, 2010 年秋季に浮遊期を過ぎた大きさで現われ, その後 4 ヶ月近くにわたって同じサンゴイソギンチャクに定着した。相模湾では, 逗子沖の岩礁 (KPM-NR 88171) で生態写真が撮影されているが, 相模湾から他に記録はなく, 当該個体とともに人為的な放流が強く疑われる。

ナノハナスズメダイ

Chromis katoi Iwatsubo & Motomura, 2018

(図 8-G)

KPM-NR 218117, 約 40 mm SL, Dec. 17, 2010, 逗子沖オオタカ根, スキューバダイビング, 水深 18 m, 工藤撮影。

本種はキホシスズメダイ *C. yamakawai* と混同されていたが, Iwatsubo & Motomura (2018) により新種記載された。相模湾では, 静岡県伊豆半島東岸 (KPM-NR 95105 ほか), 千葉県館山湾 (KPM-NR 150228 ほか), 伊豆大島 (KPM-NR 62590 ほか) など多くの記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

当該個体の大きさでは, 胸鰭基部の黒斑が小さいことでキホシスズメダイから容易に別が可能で, 臀鰭前縁の黒色帯が本種では細く線状であることも識別点となる。

キホシスズメダイ

Chromis yamakawai Iwatsubo & Motomura, 2013

(図 9-A)

KPM-NR 219885, 約 20 mm SL, Nov. 29, 2018, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NR 168793 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 千葉県館山湾 (KPM-NR 206070 ほか), 伊豆大島 (KPM-NR 75303) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。



図 8. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: YCM-P 46572, チャイロヤッコ *Centropyge fisheri*, 城ヶ島梶ノ浜, 水深 6 m, 34.6 mm SL, 工藤撮影 ; B: KPM-NR 218118, アカネキンチャクダイ *Chaetodontoplus chrysocephalus*, 逗子沖オオタカ根, 水深 18 m, 約 130 mm SL, 工藤撮影 ; C: KPM-NR 218136, タテジマキンチャクダイ *Pomacanthus imperator*, 小網代湾胴網海岸, 水深 3 m, 約 25 mm SL, 門田撮影 ; D: KPM-NR 218132, サラサゴンベ *Cirrhitichthys falco*, 小網代湾胴網海岸, 水深 2 m, 約 50 mm SL, 門田撮影 ; E: KPM-NR 218139, ヒメゴンベ *Cirrhitichthys oxycephalus*, 小網代湾胴網海岸, 水深 2 m, 約 55 mm SL, 門田撮影 ; F: KPM-NR 218112, ハマクマノミ *Amphiprion frenatus*, 城ヶ島梶ノ浜, 水深 7 m, 約 60 mm SL, 工藤撮影 ; G: KPM-NR 218117, ナノハナスズメダイ *Chromis kato*, 逗子沖オオタカ根, 水深 18 m, 約 40 mm SL, 工藤撮影 .

クロスズメダイ

Neoglyphidodon melas (Valenciennes, 1830)

(図 9-B)

KPM-NR 217812, 約 50 mm SL, Aug. 30, 2021, 長津呂, スキンダイビング, 水深 3 m, 山田撮影。

当該個体は、幼魚ではあるが成魚のものへと移行しつつある色斑をもつ。三浦半島沿岸で越冬したとは考え難く、2021 年の早い時期に仔稚魚が黒潮によって移送されたものと推測される。

小笠原諸島, 屋久島, 琉球列島, 尖閣諸島に分布し、相模湾からは初記録となる。

アイスズメダイ

Plectroglyphidodon obreptus (Whitley, 1948)

(図 9-C)

KPM-NR 219871, 約 35 mm SL, Oct. 10, 2020, 横須賀市和田長浜海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 石田晋作撮影。

本種は屋久島, 沖縄諸島, 八重山諸島に分布する。

当該個体が採集される 10 日前に真鶴半島で生態写真が撮影されており (KPM-NR 212408), これらは相模湾からの初記録となる。

ヒメスズメダイ

Pycnochromis vanderbilti Fowler, 1941

(図 9-D)

YCM-P 46600 (=KPM-NR 218140, 約 20 mm SL, Nov. 20, 2019, 門田撮影), 44.0 mm SL (Sept. 29, 2021, 飼育後死亡時), 小網代湾横堀海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田採集。

相模湾では、静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NR 35120 ほか) から記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

標本個体は、採集後 2 年近くにわたって京急油壺マリnparkにおいて飼育・展示された。

ルリホシスズメダイ

Stegastes lacrymatus (Quoy & Gaimard, 1825)

(図 9-E)

KPM-NR 217812, 約 30 mm SL, Oct. 10, 2020, 葉山町三ヶ下海岸, スキンダイビング, 水深 5 m, 石田晋作撮影; KPM-NR 218145, 約 20 mm SL, Sept. 14, 2018, 小網代湾横堀海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

本種は、八丈島, 小笠原諸島, 伊豆半島西岸, 和歌山県串本, 高知県柏島, 屋久島, トカラ列島, 琉球列島に分布し、相模湾からは初記録となる。

ベラ科

Labridae

スミツキベラ

Bodianus axillaris (Bennett, 1832)

(図 9-F)

KPM-NR 218135, 約 25 mm SL, Sept. 7, 2021, 小網代湾網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

相模湾では、静岡県伊豆海洋公園 (益田・小林, 1994) から記録があり、神奈川県沿岸からは初記録となる。

ケサガケベラ

Bodianus mesothorax (Bloch & Schneider, 1801)

(図 9-G)

KPM-NR 218131, 約 15 mm SL, July 20, 2020, 小網代湾網海岸, スキンダイビング, 水深 3 m, 門田撮影; YCM-P 46593, 46.6 mm SL, Sept. 8, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 4 m, 山田博和採集。

相模湾では、静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NR 89357, 89890) から記録があり、神奈川県沿岸からは初記録となる。

ミツバモチノウオ

Cheilinus trilobatus Lacepède, 1801

(図 9-H)

KPM-NR 219907, 約 40 mm SL, Oct. 23, 2012, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では、静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NI 142080) から記録があり、神奈川県沿岸からは初記録となる。

イトヒキベラ

Cirrhilabrus temminckii Bleeker, 1853

(図 9-I)

YCM-P 46568, 40.5 mm SL, Oct. 24, 2020, 小網代湾ヨットハーバー前, スキンダイビング, 水深 3 m, 工藤採集。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが、標本が得られたため改めて報告する。

カンムリベラ

Coris aygula Lacepède, 1801

(図 9-J)

YCM-P 46418, 31.6 mm SL, Nov. 23, 2018, 城ヶ島島外, スキンダイビング, 水深 2 m, 岡部 久採集。

相模湾では、静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NI 60123 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 千葉県館山湾 (下光ほか, 2019), 伊豆大島 (KPM-NI 52047) から記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。



図 9. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類. A: KPM-NR 219885, キホシスズメダイ *Chromis yamakawai*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 20 mm SL, 山田撮影; B: KPM-NR 217812, クロスズメダイ *Neoglyphidodon melas*, 城ヶ島長津呂, 水深 3 m, 約 50 mm SL, 山田撮影; C: KPM-NR 219871, アイスズメダイ *Plectroglyphidodon obreptus*, 横須賀市和田長浜海岸, 約 35 mm SL, 水深 2m, 石田晋作撮影; D: KPM-NR 218140 (= YCM-P 46600), ヒメスズメダイ *Pycnochromis vanderbilti*, 小網代湾横堀海岸, 水深 2 m, 約 20 mm SL, 門田撮影; E: KPM-NR 217812, ルリホシスズメダイ *Stegastes lacrymatus*, 葉山町三ヶ下海岸, 水深 5 m, 約 30 mm SL, 石田晋作撮影; F: KPM-NR 218135, スミツキベラ *Bodianus axillaris*, 小網代湾胴網海岸, 水深 2 m, 約 25 mm SL, 門田撮影; G: KPM-NR 218131, ケサガケベラ *Bodianus mesothorax*, 小網代湾胴網海岸, 水深 3 m, 約 15 mm SL, 門田撮影; H: KPM-NR 219907, ミツバモチノウオ *Cheilinus trilobatus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 40 mm SL, 山田撮影; I: YCM-P 46568, イトヒキベラ *Cirrhilabrus temminckii*, 小網代湾ヨットハーバー前, 水深 3 m, 40.5 mm SL, 工藤撮影; J: YCM-P 46418, カンムリベラ *Coris aygula*, 城ヶ島島外, 水深 2 m, 31.6 mm SL, 工藤撮影.

コガネキュウセン

Halichoeres chrysus Randall, 1981

(図 10-A)

KPM-NR 218103, 約 40 mm SL, Oct. 5, 2000, 城ヶ島クレバス, スキューバダイビング, 水深 17 m, 工藤撮影。

相模湾では, 静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NI 95159 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005), 伊豆大島 (KPM-NI 97393) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

アカニジベラ

Halichoeres margaritaceus (Valenciennes, 1839)

(図 10-B)

KPM-NR 219867, 約 40 mm SL, Oct. 6, 2021, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 小田原市早川 (KPM-NI 39339), 静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NI 38908 ほか) をはじめとする伊豆半島東岸, 千葉県館山湾 (KPM-NI 201241), 伊豆大島 (KPM-NI 51990) から記録がある。

イナズマベラ *H. nebulosus* に酷似するが, 頬部の明色斑が直線的であることから, 下方へ湾曲するイナズマベラから区別され, 調査海域における個体数はイナズマベラよりさらに少ない。

バラヒラベラ

Iniistius verrens (Jordan & Evermann, 1902)

(図 10-C)

YCM-P 46597, 141.0 mm SL (Sept. 29, 2021, 飼育後死亡時), Sept.–Nov., 2019, 小網代湾沖, 釣り, 岩瀬成知採集。

相模湾では, 小田原市早川 (KPM-NI 39218 ほか), 静岡県赤沢 (KPM-NI 143207) の記録がある。

標本個体は, 2019 年秋季にカワハギ釣りの遊漁船によって釣獲され, 京急油壺マリンパークにおいて約 2 年間にわたり飼育・展示された。

テンス属の 1 種

Iniistius sp.

(図 10-D)

YCM-P 46594 (=KPM-NR 219897, 47.2 mm SL, 山田撮影), Oct. 2, 2020, 城ヶ島大橋下, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田採集。

標本個体は, 腹部や脇腹が明るく抜けること, 体側に 2–3 本の横帯が確認できること, 背鰭が伸長しないこと, 尾鰭後半部が透明などの特徴を有する。しかし, 本属魚類は成長に伴って色斑と体型が大きく変化することから同定に至らなかった。

オトヒメベラ

Pseudojuloides paradiseus Tea, Gill & Senou, 2020

(図 10-E, F)

KPM-NR 218123, 約 100 mm SL, 雄, Nov. 1, 2001, 芦名沖オオツブ根, スキューバダイビング, 水深 8 m, 工藤撮影; KPM-NR 218124, 約 90 mm SL, 雌, Nov. 1, 2001, 芦名沖オオツブ根, スキューバダイビング, 水深 8 m, 工藤撮影。

相模湾では, 静岡県伊豆海洋公園 (瓜生, 1991), 千葉県館山湾 (下光ほか, 2019), 伊豆大島 (KPM-NR 94350) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

ヤマブキベラ

Thalassoma lutescens (Lay & Bennett, 1839)

(図 10-G)

KPM-NR 218144, 約 50 mm SL, June 22, 2021, 小網代湾洞網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

工藤・岡部 (1991) で目視観察に基づき報告したが, 写真が撮影されたため改めて報告する。

2021 年春季以降, 調査海域では成魚に近い色斑となった大型個体が出現しており, これらは相模湾において越冬したものと考えられる。

ベラギンボ科

Trichonotidae

クロエリギンボ

Trichonotus filamentosus (Steindachner, 1867)

(図 10-H)

KPM-NR 218120, 約 70 mm SL, Oct. 12, 2000, 芦名沖オオツブ根, スキューバダイビング, 水深 20 m, 工藤撮影。

相模湾では, 小田原市早川 (野村, 1999), 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005) から記録がある。

コケギンボ科

Chaenopsidae

コケギンボ

Neoclinus bryope (Jordan & Snyder, 1902)

(図 11-A)

KPM-NR 218104, 約 60 mm SL, Oct. 5, 2000, 城ヶ島クレバス, スキューバダイビング, 水深 15 m, 工藤撮影; KPM-NR 218107, 約 60 mm SL, Sept. 13, 1999, 城ヶ島岩骨, スキューバダイビング, 水深 18 m, 工藤撮影。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが, 生態写真が撮られたため改めて報告する。

トウシマコケギンボ

Neoclinus toshimaensis Fukao, 1980

(図 11-B)

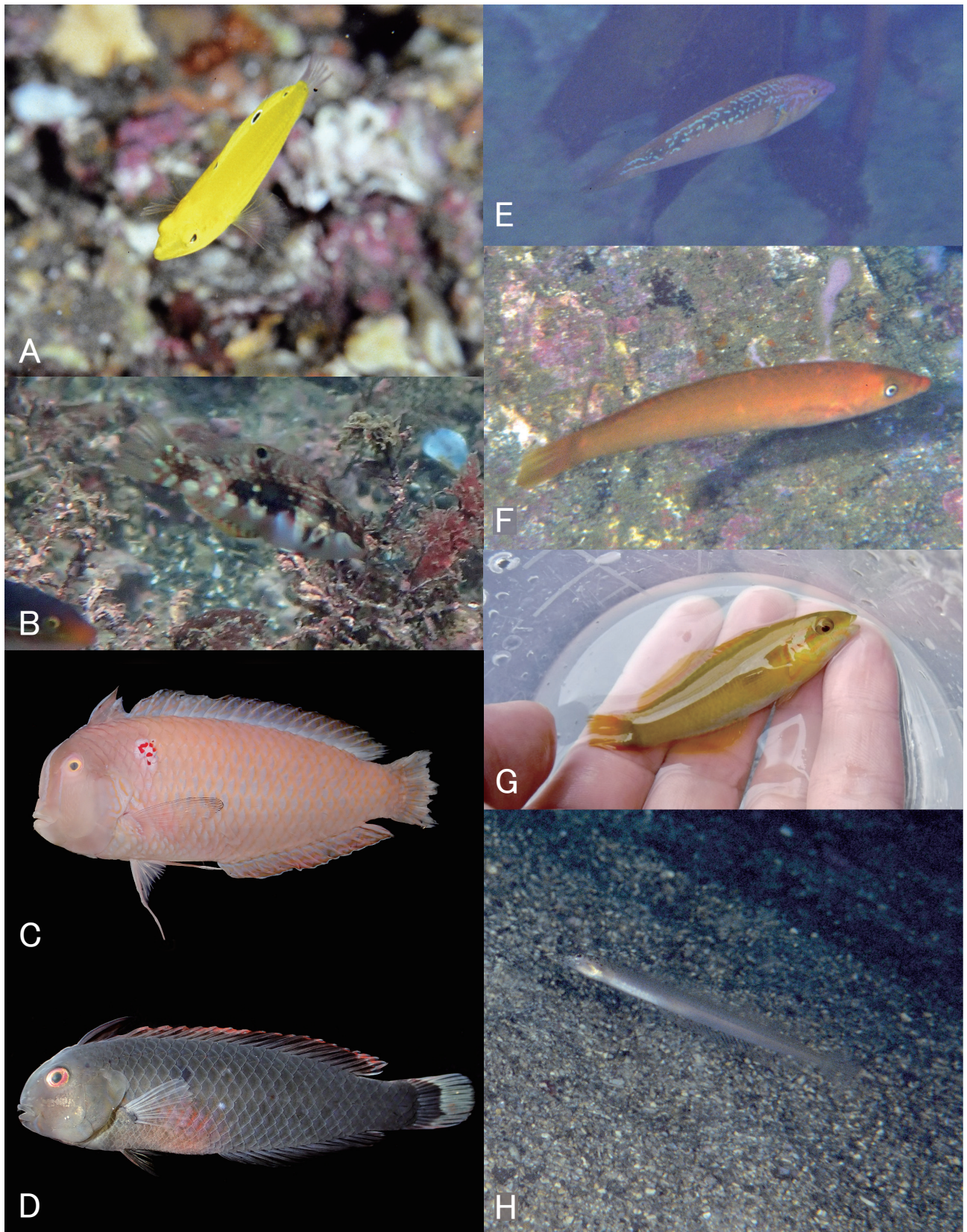


図 10. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NR 218103, コガネキュウセン *Halichoeres chrysus*, 城ヶ島クレバス, 水深 17 m, 約 40 mm SL, 工藤撮影; B: KPM-NR 219867, アカニジベラ *Halichoeres margaritaceus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 40 mm SL, 山田撮影; C: YCM-P 46597, パラヒラベラ *Iniistius verrens*, 小網代湾沖, 141 mm SL, 工藤撮影; D: YCM-P 46594 (= KPM-NR 219897), テンス属の 1 種 *Iniistius* sp., 城ヶ島大橋下, 水深 2 m, 47.2 mm SL, 山田撮影; E: KPM-NR 218123, オトヒメベラ (雄) *Pseudojuloides paradiseus*, 芦名沖オオツブ根, 水深 8 m, 約 100 mm SL, 工藤撮影; F: KPM-NR 218124, オトヒメベラ (雌) *P. paradiseus*, 芦名沖オオツブ根, 水深 8 m, 約 90 mm SL, 工藤撮影; G: KPM-NR 218144, ヤマブキベラ *Thalassoma lutescens*, 小網代湾胴網海岸, 水深 2 m, 約 50 mm SL, 門田撮影; H: KPM-NR 218120, クロエリギンポ *Trichonotus filamentosus*, 芦名沖オオツブ根, 水深 20 m, 約 70 mm SL, 工藤撮影 .

KPM-NR 218105, 約 50 mm SL, Oct. 5, 2000, 城ヶ島クレバス, スキューバダイビング, 水深 15 m, 工藤撮影;
KPM-NR 218106, 約 50 mm SL, Oct. 5, 2000, 城ヶ島クレバス, スキューバダイビング, 水深 15 m, 工藤撮影。

相模湾では, 横須賀市天神島・笠島 (林, 1995), 下田 (林ほか, 1992), 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005; 下光ほか, 2019) などの記録がある。

調査海域ではコケギンポ *N. bryope* やアライソコケギンポ *N. okazakii* よりやや深い水深 10 m 以深に棲んでいる。撮影された個体はコケギンポと同所的に生息するが, 眼上皮弁の数が多いうえに短くて密生しているように見えることで区別される。

イソギンポ科 Blenniidae

タテガミカエルウオ

Cirripectes castaneus (Valenciennes, 1836)

(図 11-C)

KPM-NI 66085 (=KPM-NR 218165, 三井撮影), 36.2 mm SL, Nov. 18, 2020, 横須賀市荒崎海岸, 手網, 水深 0.05 m, 三井採集。

相模湾では, 静岡県伊豆半島東岸 (KPM-NR 89737 ほか), 伊豆大島 (KPM-NR 88013 ほか) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

標本個体は, 夜間に岩礁から採集された。

クモギンポ

Omobranchus loxozonus (Jordan & Starks, 1906)

(図 11-D)

KPM-NI 66068 (=KPM-NR 218148, 三井撮影), 51.9 mm SL, Sept. 21, 2013, 葉山町一色海岸, 手網, 水深 0.3 m, 三井採集。

相模湾では, 静岡県下田 (松岡, 1972), 伊豆大島 (KPM-NR 88013 ほか) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

標本個体は, タイドプールから採集された。

ハゼ科

Gobiidae

モヨウハゼ

Acentrogobius pflaumii (Bleeker, 1853)

(図 11-E)

KPM-NI 66072 (=KPM-NR 218152, 以下画像はすべて三井撮影), 69.8 mm SL; KPM-NI 66073 (=KPM-NR 218153), 67.3 mm SL; KPM-NI 66074 (=KPM-NR 218154), 66.0 mm SL; KPM-NI 66075 (=KPM-NR 218155), 65.6 mm SL; KPM-NI 66076 (=KPM-NR 218156), 59.6 mm SL; KPM-NI 66077 (=KPM-NR 218156), 52.7 mm SL, 以上すべて June 15, 2020, 三崎漁港北条湾, 釣り, 碧木健人・三井採集。

KPM-NI 66080 (=KPM-NR 218160, 以下画像はすべて三井撮影), 66.5 mm SL; KPM-NI 66081 (=KPM-NR 218161), 62.7 mm SL, 以上すべて Sept. 22, 2020, 三崎漁港北条湾, 釣り, 三井採集。

明仁ほか (2013) により, それまでスジハゼ *Acentrogobius virgatus* とされていた種は, ツマグロスジハゼ *Acentrogobius* sp. 2, スジハゼ *A. virgatus*, 本種の 3 種に分けられた。本種は内湾の砂泥地に多く, 東京湾では沖合泥場の優占種となっている (岡部, 2020)。しかし, 相模湾では本種が好む環境が少ないことから個体数は多くないと考えられており, 油壺 (KPM-NR 60526) で生態写真が撮影されているに過ぎない。本調査では, 三崎漁港内の北条湾に本種が多く生息していることが明らかになった。

スジハゼ

Acentrogobius virgatus (Jordan & Snyder, 1901)

(図 11-F)

KPM-NI 66071 (=KPM-NR 218151, 以下画像はすべて三井撮影), 48.3 mm SL, June 2, 2020, 三崎漁港北条湾, 釣り, 高橋涼馬・三井採集; KPM-NI 66078 (=KPM-NR 218158), 57.8 mm SL, June 15, 2020, 三崎漁港北条湾, 釣り, 碧木健人・三井採集; KPM-NI 66082 (=KPM-NR 218162), 66.4 mm SL; KPM-NI 66083 (=KPM-NR 218163), 66.2 mm SL, Sept. 22, 2020, 三崎漁港北条湾, 釣り, 三井採集。

工藤・岡部 (1991) の「221. スジハゼ」は本種に該当するので, モヨウハゼ *Acentrogobius pflaumii* と同所的に採集された標本を指定して報告する。

サラサハゼ

Amblygobius phalaena (Valenciennes, 1837)

(図 11-G)

KPM-NR 219874, 約 40 mm SL, Oct. 15, 2015, 小網代湾ヨットハーバー前, スキューバダイビング, 水深 5 m, 高橋正浩撮影。

八丈島, 静岡県仁科, 和歌山県串本, 高知県以布利・柏島, 愛媛県室手, 鹿児島県指宿, 屋久島, トカラ列島, 琉球列島に分布し, 相模湾からは初記録となる。

当該個体は岸壁の前面に沈設された消波ブロック上をホバリングし, 驚くと消波ブロックの隙間に隠れて大きく移動することはなかった。しかし, その 1 ヶ月後の調査では見つからず, 以後発見されることはなかった。

キマダラハゼ

Astrabe flavimaculata Akihito & Meguro, 1988

(図 11-H)

YCM-P 46299, 31.0 mm SL, Oct. 15, 2015, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田採集。

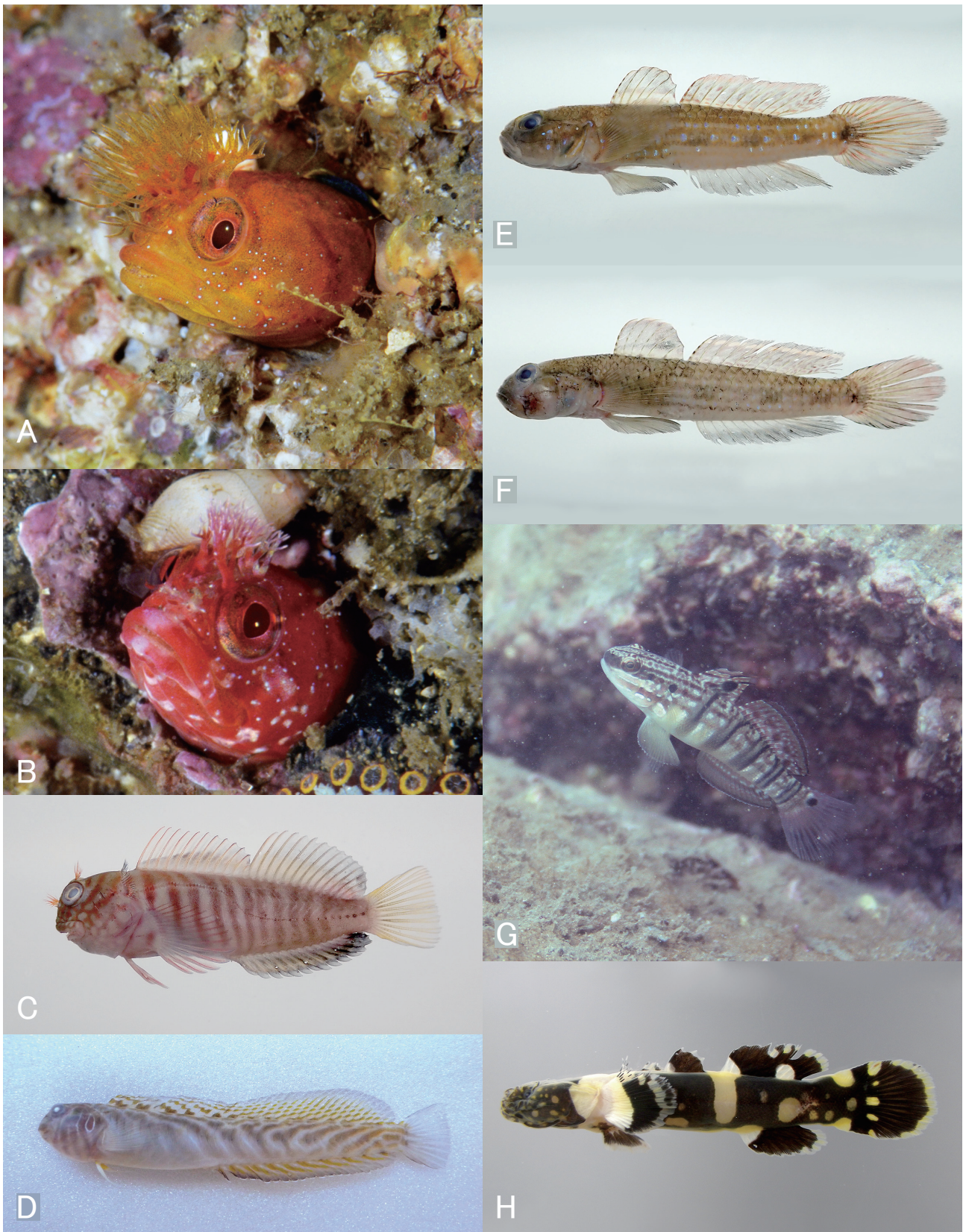


図 11. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NR 218107, コケギンボ *Neoclinus bryope*, 城ヶ島クレバス, 水深 15 m, 約 60 mm SL, 工藤撮影 ; B: KPM-NR 218105, トウシマコケギンボ *Neoclinus toshimaensis*, 城ヶ島クレバス, 水深 15 m, 約 50 mm SL, 工藤撮影 ; C: KPM-NI 66085 (= KPM-NR 218165), タテガミカエルウオ *Cirripectes castaneus*, 横須賀市荒崎海岸, 水深 0.05m, 36.2 mm SL, 三井撮影 ; D: KPM-NI 66068 (= KPM-NR 218148), クモギンボ *Omobranchus loxozonus*, 葉山町一色海岸タイドプール, 水深 0.3m, 51.9 mm SL, 三井撮影 ; E: KPM-NI 66081 (= KPM-NR 218161), モヨウハゼ *Acentrogobius pflaumii*, 三崎漁港北条湾, 62.7 mm SL, 三井撮影 ; F: KPM-NI 66083 (= KPM-NR 218163), スジハゼ *Acentrogobius virgatus*, 三崎漁港北条湾, 66.2 mm SL, 三井撮影 ; G: KPM-NR 219874, サラサハゼ *Amblygobius phalaena*, 小網代湾ヨットハーバー前, 水深 5 m, 約 40 mm SL, 高橋正浩撮影 ; H: YCM-P 46299, キマダラハゼ *Astrabe flavimaculata*, 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, 31.0 mm SL, 山田撮影 .

相模湾では、静岡県下田（林ほか, 1992）、伊豆大島（KPM-NR 92573）から記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

標本個体は、水深 1 m の転石の下から採集された。

カスリハゼ

***Mahidolia mystacina* (Valenciennes, 1837)**

（図 12-A）

KPM-NR 218115, 約 40 mm SL, Sept. 22, 2000, 油壺, スキューバダイビング, 水深 8 m, 工藤撮影。

相模湾では、油壺（内野, 2002）、館山湾（林・尾崎, 1995；萩原・木村, 2005）から記録がある。

ネジリンボウ

***Stonogobiops xanthorhinica* Hoese & Randall, 1982**

（図 12-B）

KPM-NR 218119, 約 35 mm SL, Dec. 10, 1999, 芦名沖オツブ根, スキューバダイビング, 水深 20 m, 工藤撮影。

相模湾では、静岡県川奈（KPM-NR 27395）、千葉県館山湾（林ほか, 1998）、伊豆大島（KPM-NR 62641）などから記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

オニハゼ

***Tomiyamichthys oni* (Tomiyama, 1936)**

（図 12-C）

KPM-NR 219880, 約 100 mm SL, Nov. 8, 2007, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では、横須賀市天神島（林, 1995）、横須賀市芦名（林ほか, 2000）、熱海（瀬能ほか, 1998）などの記録がある。

マンジュウダイ科

Ephippidae

ミカツキツバメウオ

***Platax boersii* Bleeker, 1853**

（図 12-D）

YCM-P 46601 (=KPM-NR 218141, Sept. 14, 2018, 門田撮影), 99.0 mm SL (Sept. 29, 2021, 飼育後死亡時), Sept. 14, 2018, 小網代湾横堀海岸, スキンダイビング, 水深 1 m, 門田採集。

相模湾では、真鶴半島（KPM-NR 62990）、静岡県富戸（KPM-NR 12531）、伊豆大島（KPM-NR 62627）、相模湾沖パヤオ（工藤, 1998）などから記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

アイゴ科

Siganidae

アマアイゴ

***Siganus spinus* (Linnaeus, 1758)**

（図 12-E）

YCM-P 46601, 50.9 mm SL, Aug. 13, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 工藤採集。

八丈島, 静岡県大瀬崎, 和歌山県宇久須・串本, 徳島県牟岐, 高知県柏島, 鹿児島県内之浦, 屋久島, 琉球列島に分布する。

相模湾では、標本個体が採集される 1 年前の 2019 年 9 月 5 日に同じ場所で標本が採集されており（KPM-NR 200585）、これが相模湾からの初記録となる。

ニザダイ科

Acanthuridae

ヒラニザ

***Acanthurus mata* (Cuvier, 1829)**

（図 12-F）

KPM-NR 219903, 約 40 mm SL, July 26, 2018, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では、三崎周辺の定置網（山田・工藤, 2000）、葉山町芝崎（KPM-NR 84346）、静岡県伊豆海洋公園（KPM-NR 77079）、千葉県館山湾（KPM-NR 91887）などの記録がある。

モンツキハギ

***Acanthurus olivaceus* Bloch & Schneider, 1801**

（図 12-G）

KPM-NR 218127, 約 30 mm SL, Aug. 7, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

工藤・岡部（1991）で標本を指定せず報告したが、写真が得られたため改めて報告する。

クログチニザ

***Acanthurus pyroferus* Kittlitz, 1834**

（図 13-A）

YCM-P 46599, 73.0 mm SL (Sept. 29, 2021, 飼育後死亡時, Oct. 25, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 門田採集; KPM-NR 218129, 約 55 mm SL, Oct. 25, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 門田撮影。

相模湾では、静岡県八幡野（KPM-NR 217167）、熱海（瀬能ほか, 1998）から記録があるが、神奈川県沿岸からは初記録となる。

コクテンサザナミハギ

***Ctenochaetus binotatus* Randall, 1955**

（図 13-B）

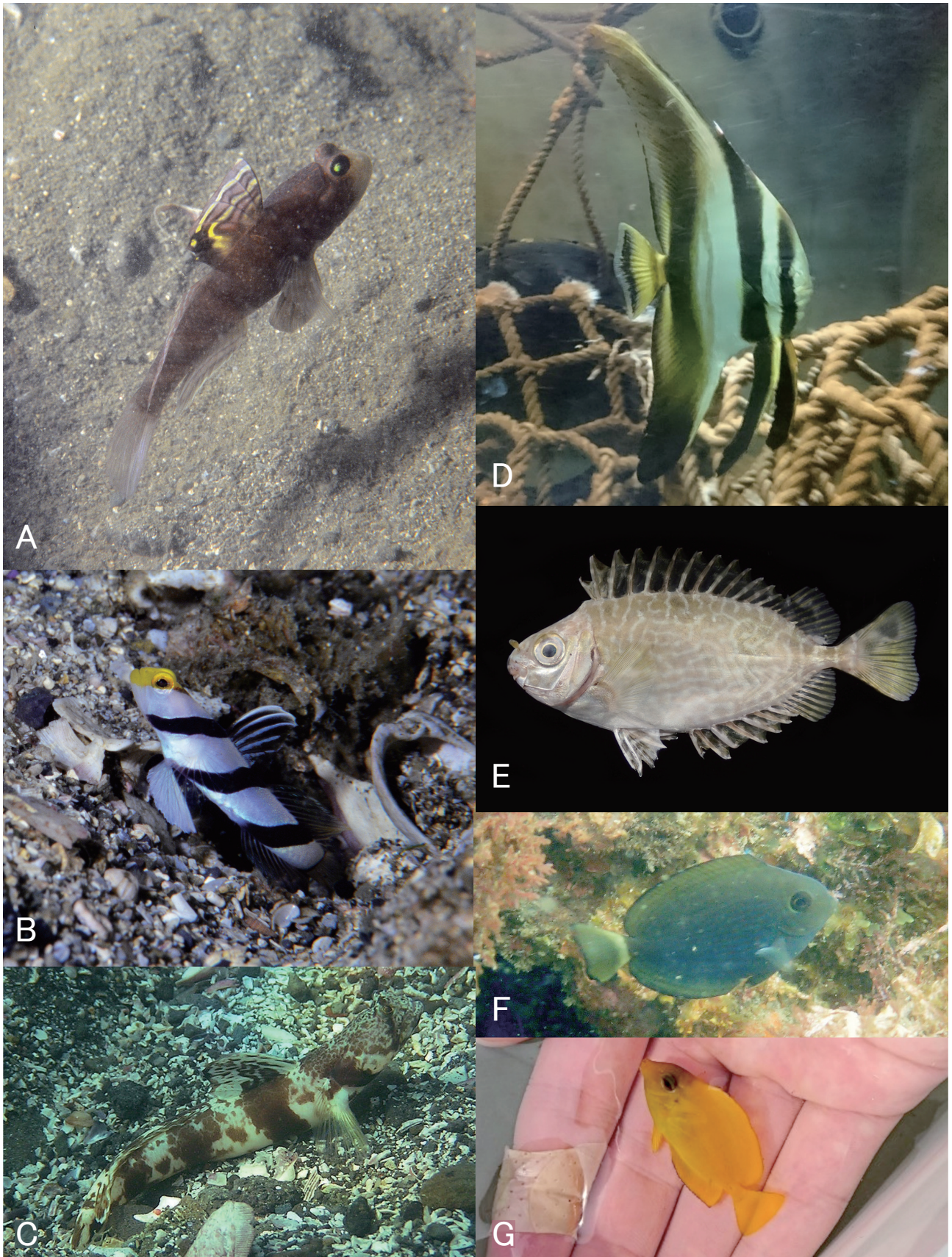


図 12. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NR 218115, カスリハゼ *Mahidolia mystacina*, 油壺, 水深 8 m, 約 40 mm SL, 工藤撮影; B: KPM-NR 218119, ネジリンボウ *Stonogobiops xanthorhinica*, 芦名沖オオツブ根, 水深 20 m, 約 35 mm SL, 工藤撮影; C: KPM-NR 219880, オニハゼ *Tomiyamichthys oni*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 100 mm SL, 山田撮影; D: KPM-NR 218141(= YCM-P 46601), ミカツキツバメウオ *Platax boersii*, 小網代湾横堀海岸, 水深 1 m, 99 mm SL, 門田撮影; E: YCM-P 46601, アミアイゴ *Siganus spinus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 50.9 mm SL, 工藤撮影; F: KPM-NR 219903, ヒラニザ *Acanthurus mata*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 40 mm SL, 山田撮影; G: KPM-NR 218127, モンツキハギ *Acanthurus olivaceus*, 小網代湾胴網海岸, 水深 2 m, 約 30 mm SL, 門田撮影 .

YCM-P 46570, 2 個体, 41.1 & 43.7 mm SL, Oct. 24, 2020, 小網代湾ヨットハーバー前, スキンダイビング, 水深 2 m, 工藤採集。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せず報告したが, 標本が得られたため改めて報告する。

カマス科
Sphyraenidae
オオヤマトカマス

***Sphyraena africana* Gilchrist & Thompson, 1909**

(図 13-C)

KPM-NI 59544 (=KPM-NR 201214, 山田撮影), 36.4 mm SL, July 3, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水面下, 山田採集。

標本個体は, 腹鰭起部は第 1 背鰭起部直下にあることから本種と同定された。本種の詳細な分布域は不明とされており, 神奈川県立生命の星・地球博物館写真資料では, 本標本のほか小笠原諸島父島産の 1 標本 (KPM-NR 201191) が登録されているのみである。

相模湾から初記録となる。

タチウオ科
Trichiuridae

タチウオ

***Trichiurus japonicus* Temminck & Schlegel, 1844**

(図 13-D)

KPM-NR 219894, 約 600 mm TL, Mar. 5, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 三崎周辺の定置網 (山田, 1990), 西湖地区の定置網 (林・西山, 1980), 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005) などの多くの記録がある。

サバ科
Scombridae

スマ

***Euthynus affinis* (Cantor, 1849)**

(図 13-E)

YCM-P 46592, 171.9 mm SL, Aug. 2, 2021, 城ヶ島西沖, 釣り, 水深 5 m, 工藤採集。

相模湾では, 三崎周辺の定置網 (山田, 1990), 西湖地区の定置網 (林・西山, 1980) などの記録がある。

カレイ目
Pleuronectiformes

ダルマガレイ科
Bothidae

チカメダルマガレイ
***Engyprosopon multisquama* Amaoka, 1963**

(図 13-F)

KPM-NR 219895, 約 50 mm SL, May 31, 2017, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

当該個体は, 尾鰭の上下縁に 1 対の黒点があり, 両眼間隔が非常に狭いことから本種と同定された。

相模湾では, 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

ヤツメダルマガレイ属の 1 種
***Tosarhombus* sp.**

(図 13-G)

YCM-P 46627, 12.9 mm SL, Oct. 1, 2019, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田博和採集。

標本個体は, 沖合性クラゲに随伴していた浮遊期の仔魚である。採集当日の海況は, 透明度が非常に高く黒潮系の沖合水が城ヶ島沿岸に強く波及していた。背鰭軟条数 92, 臀鰭軟条数 69, 体高体長比 50.6 %, 背鰭伸長条長体長比 36.1 %, 腰骨後方突起長頭長比 59.0 %, 尾舌骨棘がなく, 背鰭第 1 軟条が伸長し, 腰骨後方突起棘がなく, 黒色素斑を欠く。福井 (2014) に従えばヤツメダルマガレイ属となるが, 種同定には至らなかった。

カレイ科
Pleuronectidae

ナガレメイトガレイ

***Pleuronichthys cornutus* (Temminck & Schlegel, 1846)**

(図 13-H)

KPM-NR 219899, 約 60 mm SL, Oct. 1, 2012, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 三崎周辺の定置網 (山田・工藤, 1998), 千葉県館山湾 (萩原・木村, 2005) などの記録がある。

ウシノシタ科
Cynoglossidae

ミナミアカシタビラメ

***Cynoglossus itinus* (Snyder, 1909)**

(図 14-A)

KPM-NI 66086 (=KPM-NR 218166, 三井撮影), 67.3 mm SL, Nov. 18, 2020, 葉山町一色海岸, 手網, 水深 0.5 m, 三井採集。

相模湾では, 静岡県下田 (KPM-NR 49379) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

フグ目
Tetraodontiformes

モンガラカワハギ科
Balistidae

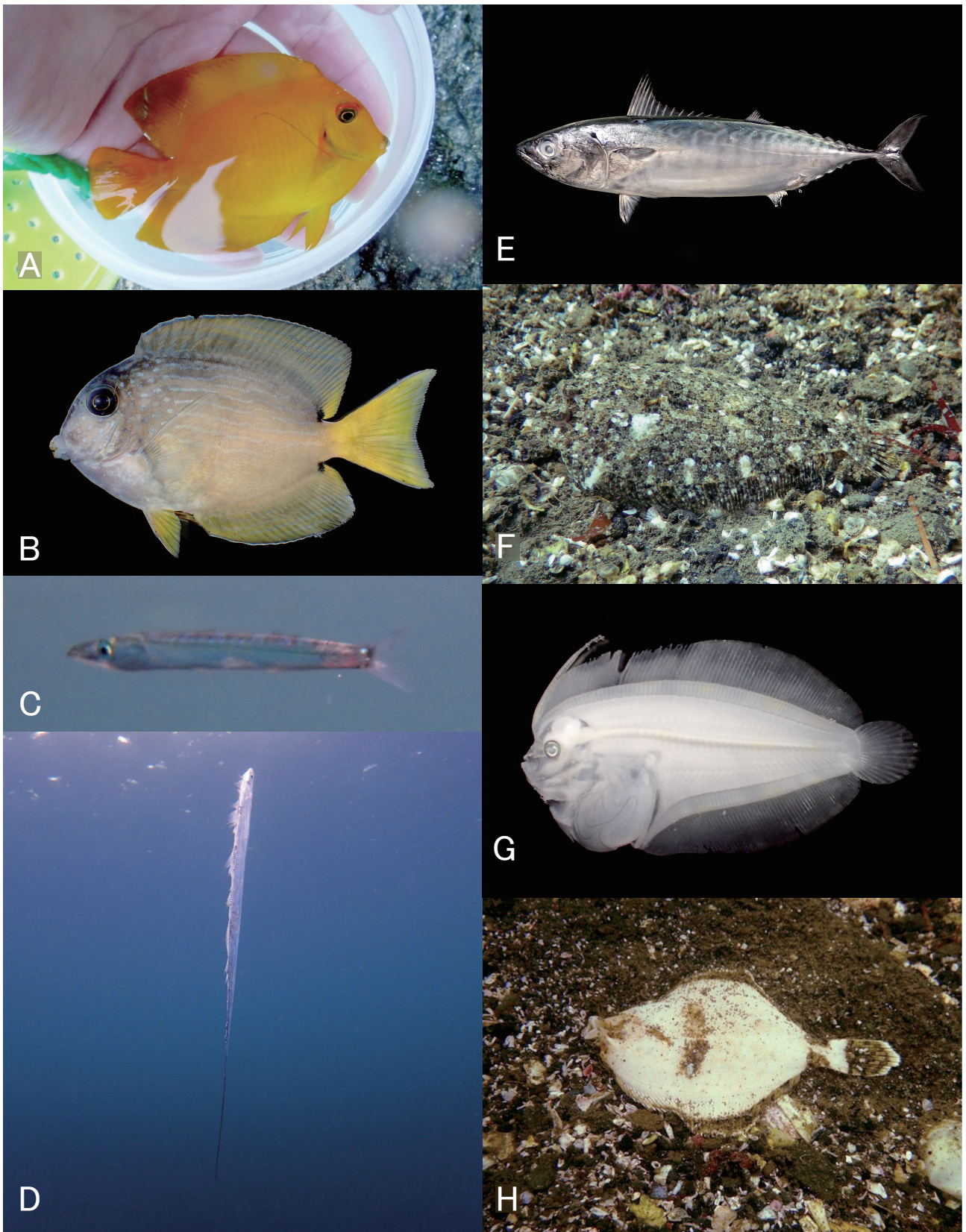


図 13. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NR 218129(= YCM-P 46599), クログチニザ *Acanthurus pyroferus*, 小網代湾洞網海岸, 約 55 mm SL, 門田撮影 ; B: YCM-P 46570, コクテンサザナミハギ *Ctenochaetus binotatus*, 小網代湾ヨットハーバー前, 水深 2 m, 43.7 mm SL, 工藤撮影 ; C: KPM-NR 201214 (KPM-NI 59544), オオヤマトカマス *Sphyraena africana*, 城ヶ島長津呂, 水面下, 36.4 mm SL, 山田撮影 ; D: KPM-NR 219894, タチウオ *Trichiurus japonicus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 600 mm SL, 山田撮影 ; E: YCM-P 46592, スマ *Euthynus affinis*, 城ヶ島西沖, 水深 5 m, 171.9 mm SL, 工藤撮影 ; F: KPM-NR 219895, チカメダルマガレイ *Engyprosopon multisquama*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 50 mm SL, 山田撮影 ; G: YCM-P 46627, ヤツメダルマガレイ属の 1 種 *Tosarhombus* sp., 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, 12.9 mm SL, 工藤撮影 ; H: KPM-NR 219899, ナガレメイタガレイ *Pleuronichthys cornutus*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 60 mm SL, 山田撮影 .



図 14. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: KPM-NI 66086 (= KPM-NR 218166), ミナミアカシタビラメ *Cynoglossus itinus*, 葉山町一色海岸, 水深 0.5 m, 67.3 mm SL, 三井撮影 ; B: KPM-NR 218128, クマドリ *Balistapus undulatus*, 小網代湾洞網海岸, 約 40 mm SL, 門田撮影 ; C: KPM-NR 218109, モンガラカワハギ *Balistoides conspicillum*, 城ヶ島岩骨, 水深 20 m, 約 40 mm SL, 工藤撮影 ; D: KPM-NR 219888, ゴマモンガラ *Balistoides viridescens*, 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, 約 50 mm SL, 山田撮影 ; E: KPM-NR 219873, キヘリモンガラ *Pseudobalistes flavimarginatus*, 城ヶ島島外, 約 350 mm SL, 工藤撮影 ; F: KPM-NR 219884, キヘリモンガラ *Pseudobalistes flavimarginatus*, 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, 約 50 mm SL, 山田撮影 ; G: YCM-P 46565, クラカケモンガラ *Rhinecanthus verrucosus*, 城ヶ島長津呂, 水深 1 m, 31.6 mm SL, 工藤撮影 .

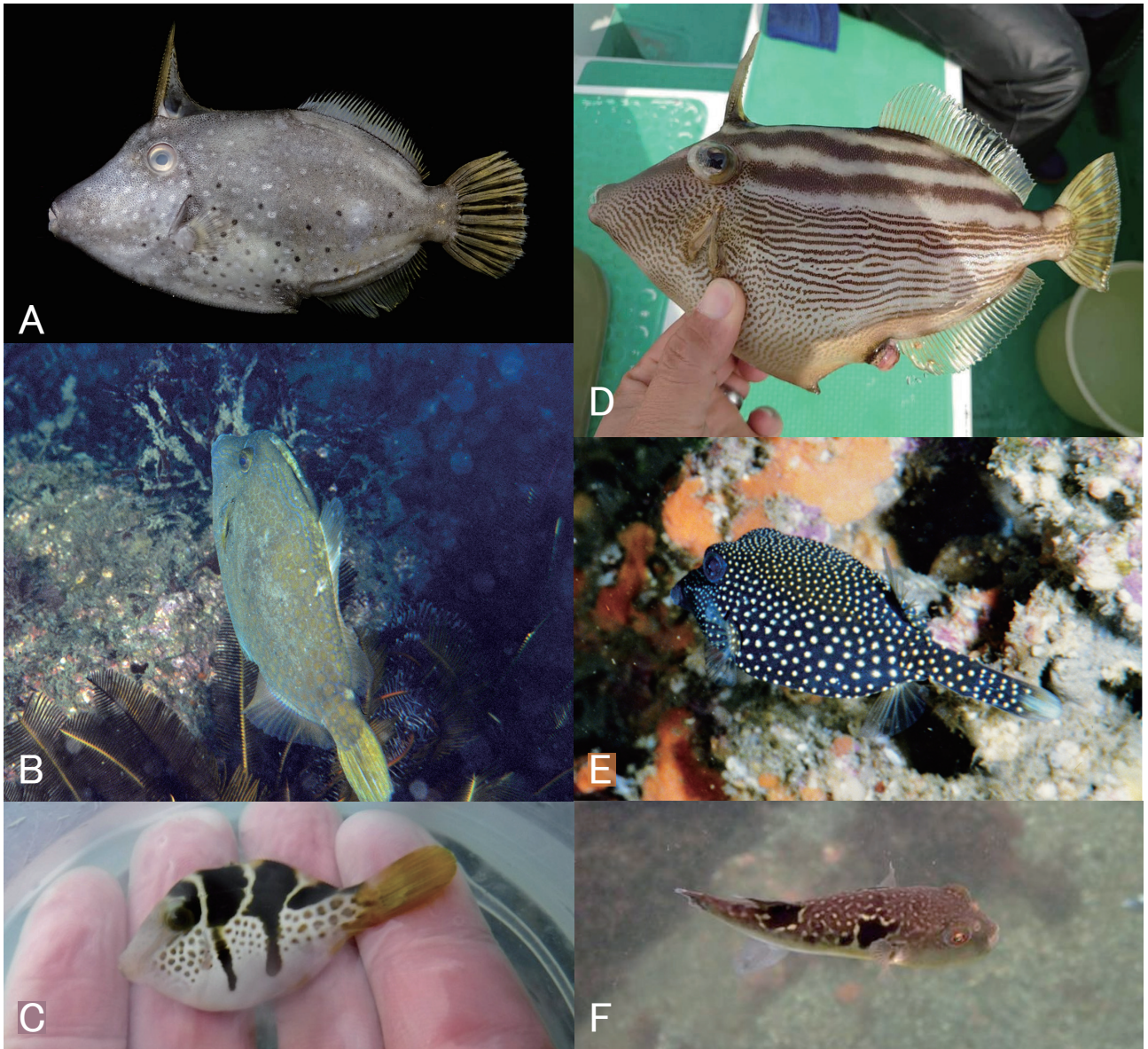


図 15. 三浦半島南西岸から新たに記録された魚類 . A: YCM-P 46591, ハクセイハギ *Cantherhines dumerilii*, 城ヶ島西沖, 水深 0.3 m, 104.1 mm SL, 工藤撮影 ; B: KPM-NR 218116, アミメウマツラハギ *Cantherhines pardalis*, 逗子沖オオタカ根, 水深 20 m, 約 120 mm SL, C: KPM-NR 218138 (=YCM-P 46578), ノコギリハギ *Paraluteres prionurus*, 小網代湾洞網海岸, 約 35 mm SL, 門田撮影 ; D: KPM-NR 219910 (=KNM-F 51), センウマツラハギ *Thamnaconus multilineatus*, 釧崎沖, 約 207.4 mm SL, 立川弘樹撮影 ; E: KPM-NR 218114, クロハコフグ *Ostracion meleagris*, 荒崎海岸, 水深 15 m, 約 40 mm SL, 工藤撮影 ; F: KPM-NR 219898, トラフグ *Takifugu rubripes*, 城ヶ島長津呂, 水深 2 m, 約 80 mm SL, 山田撮影 .

クマドリ
***Balistapus undulatus* (Park, 1797)**
 (図 14-B)

KPM-NR 218128, 約 40 mm SL, Sept. 13, 2020, 小網代湾洞網海岸, スキンダイビング, 水深 2 m, 門田撮影。

相模湾では, 千葉県館山湾 (KPM-NR 184162) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

モンガラカワハギ
***Balistoides conspicillum* (Bloch & Schneider, 1801)**
 (図 14-C)

KPM-NR 218109, 約 40 mm SL, Oct. 4, 1999, 城ヶ島岩骨, スキューバダイビング, 水深 20 m, 工藤撮影。

相模湾では, 鎌倉市七里ヶ浜 (KPM-NR 175155), 小田原市梅沢 (KPM-NR 202732), 千葉県館山湾 (KPM-NR 184166 ほか) から記録がある。

ゴマモンガラ
***Balistoides viridescens* (Bloch & Schneider, 1801)**
 (図 14-D)

KPM-NR 219888, 約 50 mm SL, Nov. 13, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田撮影。

相模湾では, 三浦市金田漁港 (KPM-NR 34719), 小田

原市早川 (KPM-NR 34719), 静岡県伊豆半島東岸 (KPM-NR 29511 ほか), 千葉県館山湾 (下光ほか, 2019), 伊豆大島 (KPM-NR 95287) など多くの記録がある。

当該個体は, キヘリモンガラ *Pseudobalistes flavimarginatus* に似るが, 体側後半の第2背鰭基底から下方へ伸びる黒帯が臀鰭に達する (キヘリモンガラでは黒帯は背側にとどまる) ことから本種と同定された。

キヘリモンガラ

***Pseudobalistes flavimarginatus* (Rüppell, 1829)**

(図 14-E, F)

KPM-NR 219873, 約 350 mm SL, Oct. 15, 2015, 城ヶ島島外, 釣り, 水深 5 m, 工藤撮影; KPM-NR 219884, 約 50 mm SL, Nov. 13, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1 m, 山田撮影。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せずに報告したが, 工藤・瀬能 (2020) で指摘したように過去の本種の記録はゴマモンガラ *Balistoides viridescens* であった可能性が高いため改めて報告する。特に KPM-NR 219873 は成魚の出現記録として注目される。

クラカケモンガラ

***Rhinecanthus verrucosus* Linnaeus, 1758**

(図 14-G)

YCM-P 46565, 31.6 mm SL, Sept. 8, 2020, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 1 m, 工藤採集。

工藤・岡部 (1991) で標本を指定せずに報告したが, 標本が採集されたため改めて報告する。

カワハギ科

Monacanthidae

ハクセイハギ

***Cantherhines dumerilii* (Hollard, 1854)**

(図 15-A)

YCM-P 46591, 104.1 mm SL, Aug. 5, 2021, 城ヶ島西沖, 手網, 水深 0.3 m, 佐藤圭悟採集。

相模湾では, 葉山芝崎 (KPM-NR 79675) で生態写真が撮影されている。

当該標本は, 沖合の流れ藻から採集された。

アミメウマヅラハギ

***Cantherhines pardalis* (Rüppell, 1837)**

(図 15-B)

KPM-NR 218116, 約 120 mm SL, Dec. 17, 2001, 逗子沖オオタカ根, スキューバダイビング, 水深 20 m, 工藤撮影。

相模湾では, 三崎周辺の定置網 (山田・工藤, 2001), 小田原市梅沢 (KPM-NR 45602), 静岡県熱海 (瀬能ほか, 1998), 伊豆海洋公園 (KPM-NR 217126) などの記録がある。

ノコギリハギ

***Paraluteres prionurus* (Bleeker, 1851)**

(図 15-C)

YCM-P 46578, 62.4 mm SL (Sept. 29, 2021, 飼育後死亡時), Sept. 13, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 1 m, 門田採集; KPM-NR 218138, 約 35 mm SL, Sept. 13, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 水深 1 m, 門田撮影。

相模湾では, 静岡県熱海 (瀬能ほか, 1998), 伊豆海洋公園 (KPM-NR 171186) などの記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

センウマヅラハギ

***Thamnaconus multilineatus* (Bleeker, 1851)**

(図 15-D)

KNM-F 51 (=KPM-NR 219910, 立川弘樹撮影), 207.4 mm SL, Jan. 12, 2020, 釧埼沖, 釣り, 立川弘樹採集。

相模湾では, 2013 年に同じ釧埼沖 (KPM-NR 152820) で遊漁船により釣獲されたものが初記録で, これが2例目の記録となる。

ハコフグ科

Ostraciidae

クロハコフグ

***Ostracion meleagris* Shaw, 1796**

(図 15-E)

KPM-NR 218114, 約 40 mm SL, Oct. 17, 1997, 荒崎海岸, スキューバダイビング, 水深 15 m, 工藤撮影; KPM-NR 218130, 約 60 mm SL, Oct. 15, 2020, 小網代湾胴網海岸, スキンダイビング, 門田撮影。

相模湾では, 静岡県伊豆海洋公園 (KPM-NR 77207), 千葉県館山湾 (下光ほか, 2019) から記録があるが, 神奈川県沿岸からは初記録となる。

フグ科

Tetraodontidae

トラフグ

***Takifugu rubripes* (Temminck & Schlegel, 1850)**

(図 15-F)

KPM-NR 219898, 約 80 mm SL, Aug. 31, 2016, 城ヶ島長津呂, スキンダイビング, 水深 2 m, 山田撮影。

相模湾では, 三崎周辺の定置網 (山田, 1990), 西湘地区の定置網 (林・西山, 1980), 横須賀市天神島・笠島 (林・伊藤, 1974) など多くの記録がある。近年は神奈川県水産技術センターによる人工種苗放流によって相模湾周辺における漁獲量が増加している (櫻井ほか, 2014)。

謝 辞

横須賀市自然博物館の萩原清司氏には標本の登録・調査でお世話になり、種々のご教示をいただいた。神奈川県水産技術センターの岡部 久氏には現地調査をはじめ様々なご協力をいただいた。みうら漁業協同組合の出口 浩氏・三和漁業協同組合の青木 悟氏をはじめとする皆様には現地・水揚げ調査でお世話になった。筑波大学大学院生命環境科学研究科の山川宇宙氏、株式会社ケンオーの碧木健人氏、横須賀市在住の篠原 元氏、三浦市在住の山田博和氏、大澤晶子氏、日高芳子氏、小菅裕二氏、岩瀬成知氏、横浜市緑区在住の石田晋作氏、千葉県八千代市在住の並木 涼氏、アジア水中考古学研究所の高橋正浩氏、みうら漁協所属一義丸の立川弘樹氏、長井町漁協所属のかねしち丸並びに孝漁丸、株式会社日企の佐藤圭悟氏からは標本および写真提供と現地調査でご協力をいただいた。また、鹿児島大学総合博物館の本村浩之氏にはグアムカサゴ、横須賀市自然・人文博物館の林 公義前館長にはアカフジテンジクダイの同定をしていただいた。東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所の幸塚久典氏にはオオワニザメ剥製について情報をいただいた。謹んで感謝の意を表する。

引用文献

- 明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏, 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次編, 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版, II., pp. 1347-1608, 2109-2211. 東海大学出版会, 秦野.
- 尼岡邦夫, 2016. 日本産ヒラメ・カレイ類. x+299 pp. 東海大学出版部, 平塚.
- 萬代あゆみ・松沼瑞樹・本村浩之, 2017. 日本初記録のヤマトシビレエイ科魚類ツキシミシビレエイ (新称) *Tetronarce formosa* と本種の標徴に関する新知見, および近縁種との形態比較. 魚類学雑誌, **64**(2): 157-170.
- Chow, S., T. Yanagimoto, K. Matsuzaki, K. Kofuji & K. Hoshino, 2019. Little genetic difference between controversial Japanese codling species *Physiculus japonicus* and *P. maximowiczii*. *Aquatic Animals*, **2019**(AA2019-5): 1-9.
- Fujiwara, K. & H. Motomura, 2019a. *Kopua minima* (Döderlein 1887), a senior synonym of *K. japonica* Moore, Hutchins and Okamoto 2012, and description of a new species of *Aspasma* (Gobiesocidae). *Ichthyological Research*, **67**(1): 50-67.
- Fujiwara, K. & H. Motomura, 2019b. Validity of *Lepadichthys misakius* (Tanaka 1908) and redescription of *Lepadichthys frenatus* Waite 1904 (Gobiesocidae: Diademichthyinae). *Zootaxa*, **4551**(3): 275-298.
- 福井 篤, 2014. ダルマガレイ科. 沖山宗雄編, 日本産稚魚図鑑, 第二版, pp. 1418-1420. 東海大学出版会, 秦野.
- 萩原清司・木村喜芳, 2005. 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録 (IV): 相模湾海洋生物研究会収集館山湾波佐間産魚類資料目録. 横須賀市博物館資料集, (29): 1-34.
- 林 弘章・萩原清司・木村喜芳, 2000. 天神島・笠島およびオオツツ根周辺の浅海域魚類目録. 相模湾海洋生物研究会編, 芦名周辺サンゴ類生息状況調査報告書, pp. 41-63. 相模湾海洋生物研究会, 横須賀.
- 林 公義, 1977. 横須賀市佐島, 天神島・笠島沿岸の魚類 (II). 横須賀市博物館館報, (23): 27-32.
- 林 公義, 1982. 横須賀市佐島天神島・笠島沿岸の魚類 (V): 横須賀市佐島地先の沿岸魚類リスト追捕・2. 横須賀市立博物館館報, (28): 11-13.
- 林 公義, 1995. 天神島自然教育園海域の魚類相. 横浜国立大学環境科学センター紀要, **21**(1): 243-258.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 横須賀市佐島, 天神島・笠島沿岸の魚類. 横須賀市博物館雑報, (20): 37-50.
- 林 公義・伊藤 孝・岩崎 洋・林 弘章・萩原清司・足立行彦・長谷川孝一・木村喜芳, 1992. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類 (追捕). 神奈川自然誌資料, (13): 17-27.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類一相模湾魚類目録・I. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 林 公義・尾崎幸司, 1995. 館山湾 波左間の海. 伊豆海洋公園通信, **6**(12): 4-5.
- 林 公義・尾崎幸司・荒川寛幸, 1998. ネジリンボウ. 伊豆海洋公園通信, **9**(12): 1.
- Hibino, Y., J. E. McCosker & F. Tashiro, 2019. Four new deepwater *Ophichthus* (Anguilliformes: Ophichthidae) from Japan with a redescription of *Ophichthus pallens* (Richardson 1848). *Ichthyological Research*, **66**(2): 289-306.
- 岩槻幸雄, 2005. フェダイ科. 岡村 収・尼岡邦夫編・監修, 日本の海水魚, 第3版, pp. 329-339. 山と溪谷社, 東京.
- Iwatsubo, H. & H. Motomura, 2013. Redescriptions of *Chromis notata* (Temminck and Schlegel, 1843) and *C. kennensis* Whitley, 1964 with the description of a new species of *Chromis* (Perciformes: Pomacentridae). *Species Diversity*, **18**: 193-213.
- Iwatsubo H. & H. Motomura, 2018. *Chromis katoii*, a new species of damselfish from the Izu Islands, Japan, with a key to species in the *Chromis notata* species complex (Perciformes: Pomacentridae). *Aqua, International Journal of Ichthyology*, **24**(1): 27-34.
- Jordan, D. S. & W. F. Thompson, 1914. Record of the fishes obtained in Japan in 1911. *Memoirs of the Carnegie Museum*, **6**(4): 205-313, pls. 24-42.
- 亀井正法, 1979. 相模湾砂浜海域 (江の島〜大磯) における魚類とその季節変化. 神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾支所編, 相模湾資源環境調査報告書一 II (環境部門 資源生物部門), pp. 167-186. 神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾支所, 三浦・小田原.
- 金澤礼雄・田中 彰・瀬能 宏, 2001. 駿河湾・相模湾で採集されたオオワニザメ *Odontaspis ferox* について. 板鰐類研究会報, (37): 4-11.
- Kimura, K., H. Imamura & T. Kawai, 2018. Comparative morphology and phylogenetic systematics of the families Cheilodactylidae and Latridae (Perciformes: Cirrhitidae), and proposal of a new classification. *Zootaxa*, **4536**(1): 1-72.
- 木村喜芳・鈴木宏和・萩原清司, 2004. 波左間の魚類: カサゴの仲間 (その2). 伊豆海洋公園通信, **15**(9): 6-7.
- 工藤孝浩, 1998. 相模湾のパヤオにおいて潜水観察された魚類. 神奈川県水産総合研究所研究報告, (3): 1-18.
- 工藤孝浩・岡部 久, 1991. 三浦半島南西部沿岸の魚類. 神奈川自然誌資料, (12): 29-38.
- 工藤孝浩・岡部 久・山田和彦, 1992. 三浦半島南西部沿岸の魚類一 II. 神奈川自然誌資料, (13): 39-44.
- 工藤孝浩・瀬能 宏, 2020. 横浜, 川崎および中ノ瀬海域から初記録の魚類一 VI. 神奈川自然誌資料, (41): 53-60.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2001. 三浦半島南西部沿岸の魚類一 IV. 神奈川自然誌資料, (22): 33-42.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2003. 三浦半島南西部沿岸の魚類一 V. 神奈川自然誌資料, (24): 49-54.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2005. 三浦半島南西部沿岸の魚類一 VI. 神奈川自然誌資料, (26): 79-84.
- 工藤孝浩・山田和彦, 2011. 三浦半島南西部沿岸の魚類一 VII. 神奈川自然誌資料, (32): 135-141.
- 工藤孝浩・山田和彦・瀬能 宏, 2013. 三浦半島南西部沿岸の

- 魚類－VIII, 神奈川自然誌資料, (34): 135–141.
- 工藤孝浩・山田和彦・瀬能 宏, 2019. 三浦半島南西部沿岸の魚類－IX, 神奈川自然誌資料, (40): 49–58.
- Last, P. R., G. J. P. Naylor & B. M. Manjaji-Matsumoto, 2016. A revised classification of the family Dasyatidae (Chondrichthyes: Myliobatiformes) based on new morphological and molecular insights. *Zootaxa*, **4139**(3): 345–368.
- Lee, S. J., J.-K. Kim, Y. Kai, S. Ikeguchi & T. Nakabo, 2017. Taxonomic review of dwarf species of *Eumicrotremus* (Actinopterygii: Cottoidei: Cyclopteridae) with descriptions of two new species from the western North Pacific. *Zootaxa*, **4282**(2): 337–349.
- 馬淵浩司・林 公義・T. H. Fraser, 2015. テンジクダイ科の新分類体系にもとづく亜科・族・属の標準和名の提唱. 魚類学雑誌, **62**(1): 29–49.
- 益田 一, 1990. 稚魚 2. 伊豆海洋公園通信, **1**(3): 2–3.
- 益田 一・小林安雅, 1994. 日本産魚類生態大図鑑. 468 pp. 東海大学出版会, 東京.
- 松本達也・前川隆則・本村浩之, 2021. 薩南諸島初記録のカワハギ科ウマヅラハギ属 3 種 (アズキウマヅラハギ・センウマヅラハギ・ゴイシウマヅラハギ), および *Cantherhines* に対する標準和名ハクセイハギ属 (新称) の提唱. *Ichthy. Natural History of Fishes of Japan*, 12: 12–19.
- 松岡玳良, 1972. 伊豆下田竜宮島付近の磯に見られる魚類, 静岡県水試研究報告, (5): 89–111.
- Matsuura, K. 2017. Taxonomic and nomenclatural comments on two puffers of the genus *Takifugu* with description of a new species, *Takifugu flavipterus*, from Japan (Actinopterygii, Tetraodontiformes, Tetraodontidae). *Bulletin of the National Museum of Nature and Science, Series A*, **43**(1): 71–80.
- 中坊徹次編, 2013. 日本産魚類検索 全種の同定 第三版 I–III, i–xlix + 1–864 pp., i–xxxii + 865–1747 pp., i–xvi + 1748–2428 pp., 東海大学出版会, 秦野.
- Nakamura, J. & H. Motomura, 2021. *Epinephelus insularis*, a new species of grouper from the western Pacific Ocean, and validity of *E. japonicus* (Temminck and Schlegel 1843), a senior synonym of *Serranus reevesii* Richardson 1846 and *E. tankahkei* Wu *et al.* 2020 (Perciformes: Epinephelidae). *Ichthyological Research*, **68**(2): 263–276.
- 中村一恵, 1970. 相模湾沿岸のタイドプール魚類, 神奈川県立博物館調報 (自然科学), (1): 1–33.
- 野村智之, 1999. 早川の海: 砂中に潜む魚. 伊豆海洋公園通信, **10**(20): 6.
- 岡部 久, 2020. 東京湾の生物相モニタリング調査. 神奈川県水産技術センター編, 令和元年度神奈川県水産技術センター業務概要, pp. 33–35. 神奈川県水産技術センター, 三浦.
- 岡部 久・工藤孝浩, 1993. 三浦半島南西部沿岸の魚類－III. 神奈川自然誌資料, (14): 43–47.
- 沖山宗雄編, 2014. 日本産稚魚図鑑, 第二版. i–lii + 1–976, i–xiv + 977–1639 + (i) pp. 東海大学出版会, 秦野.
- Prokofiev, A. M., 2021. To the taxonomy of the stargazers of the genus *Uranoscopus* of the Indo-Pacific waters with a description of three new species (Uranoscopidae). *Journal of Ichthyology*, **61**(5): 655–679.
- Randall, J. E. & J. D. DiBattista, 2012. *Etrumeus makiawa*, a new species of round herring (Clupeidae: Dussumierinae) from the Hawaiian Islands. *Pacific Science*, **66**(1): 97–110.
- Sakai, H. K. Watanabe & A. Goto, 2020. A revised generic taxonomy for Far East Asian minnow *Rhynchocypris* and dace *Pseudaspius*. *Ichthyological Research*, **67**: 330–334.
- 櫻井 繁・一色竜也・鈴木重則, 2014. 神奈川県におけるトラフグ種苗放流効果について. 神奈川県水産技術センター研究報告, (7): 41–47.
- Sasaki, D. & S. Kimura, 2019. A new atherinomorphine genus *Doboatherina* (Atheriniformes: Atherinidae) with a review of included species. *Ichthyological Research*, **67**(2): 225–261.
- 瀬能 宏, 1994. 日本産カミソリウオ科魚類の分類: 学名と和名の整理. 伊豆海洋公園通信, **5**(6): 2–6.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース (KPM-NR) に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19–28.
- 瀬能 宏・益田 一, 1998. 伊豆海洋公園産魚類目録 (1): 軟骨魚類. 伊豆海洋公園通信, **9**(11): 2–7.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinahara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastlines under the influence of the Kuroshio current. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo*, (41): 389–542.
- 瀬能 宏・松浦啓一, 2007. 相模湾の魚たちと黒潮. 国立科学博物館編, 相模湾動物誌, pp.121–133. 東海大学出版会, 秦野.
- 瀬能 宏・大沼久之, 2000. チャイロヤッコ. 伊豆海洋公園通信, **11**(5): 1.
- 瀬能 宏・鈴木寿之・大沼久之・森田康弘, 1994. バラフエダイ稚魚の攻撃擬態における新たなモデル例. 伊豆海洋公園通信, **5**(12): 4–5.
- 瀬能 宏・矢野維幾・鈴木寿俊幸之・渋川浩一, 2021. 新版日本のハゼ. 581 pp. 平凡社, 東京.
- 渋川浩一・藍澤正宏・鈴木寿之, 2020. *Inu Snyder*, 1909 とは何か?: コマハゼ属の再定義および関係する砂礫間隙性ハゼ類の放散に関する考察. 東海自然誌, (13): 79–116.
- 渋川浩一・藍澤正宏・鈴木寿之・金川直幸・武藤文人, 2019. 静岡県産ミミズハゼ属魚類の分類学的検討 (予報). 東海自然誌, (12): 29–96.
- 下光利明・遠藤周太・三井翔太・横地和正・瀬能 宏, 2019. 千葉県館山市坂田の東京海洋大学館山ステーション地先に出現する魚類. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), (48): 121–137.
- Shinohara, G., & J. T. Williams, 2006. Historical Japanese fish specimens from the Sagami Sea in the National Museum of Natural History, Smithsonian Institution. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo*, (41): 543–568.
- 清水詢道, 1979. 小田和湾の藻場の魚類. 神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾支所編, 相模湾資源環境調査報告書－II (環境部門 資源生物部門), pp. 187–191. 神奈川県水産試験場・神奈川県水産試験場相模湾支所, 三浦・小田原.
- 清水詢道・永田 知, 1982. 長井沖人工漁礁の魚類相. 神奈川県水産試験場研究報告, (4): 1–8.
- Smith, D. G., W. Schwarzhans & J. J. Pogonoski, 2016. The identity of *Conger japonicus* Bleeker, 1879 (Anguilliformes: Congridae). *Copeia*, **104**(3): 734–737.
- 鈴木美智子, 1995. 東伊豆・富戸の海. 伊豆海洋公園通信, **6**(3): 6.
- Tang, K. L., M. L. J. Stiassny, R. L. Mayden & R. DeSalle, 2021. Systematics of damselfishes. *Ichthyology & Herpetology*, **109**(1): 258–318.
- Tea, Y.-K., A. C. Gill & H. Senou, 2020. Two new species of *Pseudojuloides* from Western Australia and southern Japan, with a redescription of *Pseudojuloides elongatus* (Teleostei: Labridae). *Copeia*, **108**(3): 551–569.
- 内野啓道, 2002. 油壺の海 軟泥底に生息するハゼ. 伊豆海洋公園通信, **14**(1): 6–7.
- 瓜生知史, 1991. 伊豆の海. 伊豆海洋公園通信, **2**(2): 7.
- 山田和彦, 1990. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類. 神奈川自然誌資料, (11): 95–102.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1992. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類－III. 神奈川自然誌資料, (13): 45–53.
- 山田和彦・工藤孝浩, 1998. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類－VII. 神奈川自然誌資料, (19): 5–11.

山田和彦・工藤孝浩, 2000. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・IX. 神奈川自然誌資料, (21): 25–31.
山田和彦・工藤孝浩, 2001. 神奈川県三崎魚市場に水揚げされた魚類・X. 神奈川自然誌資料, (22): 43–50.
Yokogawa, K., G. Ogiwara & K.-I. Watanabe, 2014. Identity of the lectotype of the East Asian flatfish *Pleuronichthys cornutus* (Temminck and Schlegel 1846) and reinstatement of *Pleuronichthys lighti* Wu 1929. *Ichthyological Research*, **61**(4): 385–392.

工藤孝浩：神奈川県水産技術センター内水面試験場；
山田和彦：観音崎自然博物館；三井翔太：株式会社日本海洋生物研究所；門田高太：アクアマリンふくしま；
瀬能 宏：神奈川県立生命の星・地球博物館
(受領 2021 年 10 月 31 日；受理 2022 年 1 月 23 日)

付表. 三浦半島南西岸で記録された魚類

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ギンザメ目 Chimaeriformes										
ギンザメ科 Chimaeridae										
ギンザメ <i>Chimaera phantasma</i>										●
ネコザメ目 Heterodontiformes										
ネコザメ科 Heterodontidae										
ネコザメ <i>Heterodontus japonicus</i>	●									
ネズミザメ目 Lamniformes										
オオワニザメ科 Odontaspidae										
オオワニザメ <i>Odontaspis ferox</i>										●
メジロザメ目 Carcharhiniformes										
トラザメ科 Scyliorhinidae										
ナヌカザメ <i>Cephaloscyllium umbratile</i>	●									
ニホンヤモリザメ <i>Galeus nipponensis</i>									●	
トラザメ <i>Scyliorhinus torazame</i>	●									
ドチザメ科 Triakidae										
ドチザメ <i>Triakis scyllium</i>	●									
ツノザメ目 Squaliformes										
カラスザメ科 Etmopteridae										
ヒレタカフジクジラ <i>Etmopterus molleri</i>										●
カスザメ目 Squatiniformes										
カスザメ科 Squatinidae										
カスザメ <i>Squatina japonica</i>	●									
シビレエイ目 Torpediniformes										
シビレエイ科 Torpedinidae										
シビレエイ <i>Narke japonica</i>		●								
ガンギエイ目 Rajiformes										
ガンギエイ科 Rajidae										
ガンギエイ <i>Dipturus kwangtungensis</i>		●								
トビエイ目 Myliobatiformes										
ヒラタエイ科 Urolophidae										
ヒラタエイ <i>Urolophus aurantiacus</i>	●									
アカエイ科 Dasyatidae										
ホシエイ <i>Bathytoshia brevicaudata</i>		●								
アカエイ <i>Hemirhamphodon akajei</i>	●									
ツバクロエイ科 Gymnuridae										
ツバクロエイ <i>Gymnura japonica</i>										●
カライワシ目 Elopiformes										
イセゴイ科 Megalopidae										
イセゴイ <i>Megalops cyprinoides</i>			●							
ウナギ目 Anguilliformes										
ウナギ科 Anguillidae										
ニホンウナギ <i>Anguilla japonica</i>	●									
ウツボ科 Muraenidae										
タカマユウツボ <i>Anarchias seychellensis</i>									●	
コケウツボ <i>Enchelycore lichenosa</i>								●		
トラウツボ <i>Enchelycore pardalis</i>									●	
ウツボ <i>Gymnothorax kidako</i>	●									
ウミヘビ科 Ophichthidae										
スソウミヘビ <i>Ophichthus urolophus</i>				●					●	
ホタテウミヘビ <i>Ophichthus zophistius</i>		●		●						
ダイナンウミヘビ <i>Ophisurus macrorhynchus</i>				●						
ミミズアナゴ <i>Scolecenchelys gymnota</i>	●									
ウミヘビ科の1種 Ophichthidae, indet. gen. & sp.	●									
アナゴ科 Congridae										
ハナアナゴ <i>Ariosoma anago</i>				●						
ゴテンアナゴ <i>Ariosoma meeki</i>										●
クロアナゴ <i>Conger jordani</i>		●								
マアナゴ <i>Conger myriaster</i>	●									●
ギンアナゴ <i>Gnathophippogaster heterognathos</i>					●					

付表. 続き 1

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ハモ科 Muraenesocidae										
スズハモ <i>Muraenesox bagio</i>			●							
ニシン目 Clupeiformes										
ニシン科 Clupeidae										
ウルメイワシ <i>Etrumeus micropus</i>	●									
コノシロ <i>Konosirus punctatus</i>	●									
マイワシ <i>Sardinops melanostictus</i>	●									
サツパ <i>Sardinella zunasi</i>	●									
キビナゴ <i>Spratelloides gracilis</i>	●									
カタクチイワシ科 Engraulidae										
カタクチイワシ <i>Engraulis japonica</i>	●									
コイ目 Cypriniformes										
コイ科 Cyprinidae										
ウグイ <i>Pseudaspius hakonensis</i>									●	
ナマズ目 Siluriformes										
ゴンズイ科 Plotosidae										
ゴンズイ <i>Plotosus japonicus</i>	●									
サケ目 Salmoniformes										
アユ科 Plecoglossidae										
アユ <i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>	●									
サケ科 Salmonidae										
ギンザケ <i>Oncorhynchus kisutch</i>									●	
ニジマス <i>Oncorhynchus mykiss</i>									●	
ヒメ目 Aulopiformes										
エソ科 Synodontidae										
マダラエソ <i>Saurida gracilis</i>										●
マエソ <i>Saurida macrolepis</i>										●
ワニエソ <i>Saurida wanieso</i>		●								
マエソ属の1種 <i>Saurida</i> sp.	●									
ホシノエソ <i>Synodus hoshinonis</i>			●							
アカエソ <i>Synodus ulae</i>										●
オキエソ <i>Trachinocephalus trachinus</i>	●									●
ミズウオ科 Alepisauridae										
ミズウオ <i>Alepisaurus ferox</i>										●
ハダカイワシ目 Myctophiformes										
ハダカイワシ科 Myctophidae										
ニジハダカ <i>Lampanyctus festivus</i>									●	
アカマンボウ目 Lampridiformes										
フリソデウオ科 Trachipteridae										
ユキフリソデウオ <i>Zu cristatus</i>									●	
タラ目 Gadiformes										
チゴダラ科 Moridae										
イソアイナメ <i>Lotella phycis</i>									●	
チゴダラ <i>Physiculus japonicus</i>	●									
アシロ目 Ophidiiformes										
アシロ科 Ophidiidae										
イタチウオ <i>Brotula multibarbata</i>						●				
カクレウオ科 Carapidae										
カクレウオ <i>Encheliophis sagamianus</i>									●	
アンコウ目 Lophiiformes										
カエルアンコウ科 Antennariidae										
ベニカエルアンコウ <i>Antennarius nummifer</i>	●									
イロカエルアンコウ <i>Antennarius pictus</i>									●	
ソウシカエルアンコウ <i>Antennarius scriptissimus</i>									●	
カエルアンコウ <i>Antennarius striatus</i>	●									
ハナオコゼ <i>Histrio histrio</i>	●									
キンメダイ目 Beryciformes										
イトウダイ科 Holocentridae										
ナミマツカサ <i>Myripristis kochiensis</i>									●	
ウケグチイトウダイ <i>Neonippon sammara</i>										●

付表. 続き 2

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ヤセエビス <i>Pristilepis oligolepis</i>				●						
クロオビエビス <i>Sargocentron praslin</i>										●
アヤマエビス <i>Sargocentron rubrum</i>									●	
イトウダイ <i>Sargocentron spinosissimum</i>							●			
マツカサウオ科 Monocentridae										
マツカサウオ <i>Monocentris japonica</i>	●									
トゲウオ目 Gasterosteiformes										
クダヤガラ科 Aulorhynchidae										
クダヤガラ <i>Aulichthys japonicus</i>	●									
ヤガラ科 Fistulariidae										
アオヤガラ <i>Fistularia commersonii</i>	●									
アカヤガラ <i>Fistularia petimba</i>		●								
カミソリウオ科 Solenostomidae										
カミソリウオ <i>Solenostomus cyanopterus</i>										●
ヨウジウオ科 Syngnathidae										
ノギリヨウジ <i>Doryrhamphus japonicus</i>	●									
タツノオトシゴ <i>Hippocampus coronatus</i>	●									
イバラタツ <i>Hippocampus histrix</i>				●						
ハナタツ <i>Hippocampus sindonis</i>				●						
タカクラタツ <i>Hippocampus trimaculatus</i>	●									●
ダイダイヨウジ <i>Maroubra yasudai</i>										●
テングヨウジ <i>Microphis brachyurus brachyurus</i>				●						
ボウヨウジ <i>Phoxocampus belcheri</i>					●					
ハチジョウボウヨウジ <i>Phoxocampus diacanthus</i>										●
トゲヨウジ <i>Syngnathoides biaculeatus</i>	●									
ヨウジウオ <i>Syngnathus schlegeli</i>	●									
イトヒキヨウジ <i>Trachyrhamphus longirostris</i>			●							
ヒフキヨウジ <i>Trachyrhamphus serratus</i>						●				
オクヨウジ <i>Urocampus nanus</i>					●					
ボラ目 Mugiliformes										
ボラ科 Mugilidae										
セスジボラ <i>Chelon affinis</i>	●									
メナダ <i>Chelon haematocheilus</i>	●									
コボラ <i>Chelon macrolepis</i>	●									
メナダ属の1種 <i>Chelon</i> sp.	●									
フウライボラ <i>Crenimugil crenilabis</i>	●									
ナンヨウボラ <i>Moolgarda perusii</i>									●	
ボラ <i>Mugil cephalus cephalus</i>	●									
ワニグチボラ <i>Oedalechilus labiosus</i>	●									
トウゴロウイワシ目 Atheriniformes										
トウゴロウイワシ科 Atherinidae										
ムギイワシ <i>Atherion elymus</i>	●									
トウゴロウイワシ <i>Doboatherina bleekeri</i>	●									
トウゴロウイワシ属の1種 <i>Doboatherina</i> sp.	●									
ギンイソイワシ <i>Hypoatherina tsurugae</i>	●									
ナミノハナ科 Notocheiridae										
ナミノハナ <i>Iso flosmaris</i>	●									
ダツ目 Beloniformes										
サヨリ科 Hemiramphidae										
サヨリ <i>Hyporhamphus sajori</i>	●									
サヨリ科の1種 Hemiramphidae, indet. gen. & sp.	●									
トビウオ科 Exocoetidae										
サンノジダマシ <i>Cypselurus abei</i>	●									
トビウオ <i>Cypselurus agoo</i>	●									
カラストビウオ <i>Cypselurus cyanopterus</i>										●
ツクシトビウオ <i>Cypselurus doederleini</i>	●									
ホソトビウオ <i>Cypselurus hiraii</i>					●					
ウチダトビウオ <i>Cypselurus naresii</i>					●					
アヤトビウオ <i>Cypselurus poecilopterus</i>	●									

付表. 続き 3

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ハゴロモトビウオ <i>Exocoetus monocirrhus</i>	●									
ニノジトビウオ <i>Hirundichthys speculiger</i>	●									
ツマリトビウオ <i>Parexocoetus brachypterus</i>					●					
ザカトビウオ <i>Prognichthys brevipinnis</i>	●									
ダツ科 Belonidae										
ハマダツ <i>Ablennes hians</i>	●									
ダツ <i>Strongylura anastomella</i>	●									
オキザヨリ <i>Tylosurus crocodilus crocodilus</i>	●									
ダツ科の1種 Belonidae, indet. gen. & sp.	●									
スズキ目 Perciformes										
メバル科 Sebastidae										
シロメバル <i>Sebastes cheni</i>										●
アカメバル <i>Sebastes inermis</i>	●							●		
トゴツメバル <i>Sebastes joyneri</i>										●
ヨロイメバル <i>Sebastes hubbsi</i>	●									
タケノコメバル <i>Sebastes oblongus</i>	●									
ムラソイ <i>Sebastes pachycephalus</i>	●									
クロソイ <i>Sebastes schlegelii</i>				●						
クロメバル <i>Sebastes ventricosus</i>										●
カサゴ <i>Sebastes marmoratus</i>	●									
フサカサゴ科 Scorpaenidae										
キリンミノ <i>Dendrochirus zebra</i>	●									
セトミノカサゴ <i>Parapterois heterura</i>										●
ネツタイフサカサゴ <i>Parascorpaena mossambica</i>								●		
ミノカサゴ <i>Pterois lunulata</i>	●									
ハナミノカサゴ <i>Pterois volitans</i>	●									
コクチフサカサゴ <i>Scorpaena miosstoma</i>	●									
イソカサゴ <i>Scorpaenodes evides</i>	●									
グアムカサゴ <i>Scorpaenodes guamensis</i>										●
サンゴカサゴ <i>Scorpaenodes scaber</i>				●						
セボシイソカサゴ <i>Scorpaenodes varipinnis</i>									●	
オニカサゴ <i>Scorpaenopsis cirrosa</i>									●	
ヒメサツマカサゴ <i>Scorpaenopsis cotticeps</i>		●		●						
サツマカサゴ <i>Scorpaenopsis neglecta</i>	●									
ヒュウガカサゴ <i>Scorpaenopsis venosa</i>									●	
ハチ科 Apistidae										
ハチ <i>Apistus carinatus</i>				●						
ハオコゼ科 Tetrarogidae										
ハオコゼ <i>Hypodytes rubripinnis</i>	●									
オニオコゼ科 Synanceiidae										
ダルマオコゼ <i>Erosa erosa</i>						●				
オニオコゼ <i>Inimicus japonicus</i>									●	
ホウボウ科 Triglidae										
ホウボウ <i>Chelidonichthys spinosus</i>	●									
カナド <i>Lepidotrigla guentheri</i>		●								
コチ科 Platycephalidae										
イネゴチ <i>Cociella crocodila</i>		●								
トカゲゴチ <i>Inegocia japonica</i>							●			
ワニゴチ <i>Inegocia ochiaii</i>									●	
マゴチ <i>Platycephalus</i> sp. 2	●									
セミホウボウ科 Dactylopteridae										
セミホウボウ <i>Dactyloptena orientalis</i>										●
ホシセミホウボウ <i>Daicocus peterseni</i>		●								
スズキ科 Lateolabracidae										
スズキ <i>Lateolabrax japonicus</i>	●									
ヒラスズキ <i>Lateolabrax latius</i>	●							●		
ホタルジャコ科 Acropomatidae										
スミクイウオ <i>Synagrops japonicus</i>										●

付表. 続き 4

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ハタ科 Serranidae										
ルリハタ <i>Aulacocephalus temminckii</i>									●	
アオノメハタ <i>Cephalopholis argus</i>										●
ユカタハタ <i>Cephalopholis miniata</i>										●
サラサハタ <i>Chromileptes altivelis</i>	●									
キジハタ <i>Epinephelus akaara</i>	●									●
オオモンハタ <i>Epinephelus areolatus</i>									●	
アオハタ <i>Epinephelus awoara</i>							●			
クエ <i>Epinephelus bruneus</i>	●									
ハクテンハタ <i>Epinephelus coeruleopunctatus</i>	●									
アカハタ <i>Epinephelus fasciatus</i>	●									
ホウセキハタ <i>Epinephelus japonicus</i>		●								
シロブチハタ <i>Epinephelus maculatus</i>										●
カンモンハタ <i>Epinephelus merra</i>										●
モヨウハタ <i>Epinephelus quoyanus</i>										●
カケハシハタ <i>Epinephelus radiatus</i>									●	
マハタ <i>Epinephelus septemfasciatus</i>	●									
トゲハナスズキ <i>Liopropoma japonicum</i>										●
ハナスズキ <i>Liopropoma maculatum</i>										●
ニシキハナダイ <i>Plectranthias sagamiensis</i>				●						
カシワハナダイ <i>Pseudanthias cooperi</i>										●
ナガハナダイ <i>Pseudanthias elongatus</i>			●							
キンギョハナダイ <i>Pseudanthias squamipinnis</i>	●									
ホカケハナダイ <i>Rabaulichthys suzukii</i>									●	
サクラダイ <i>Sacura margaritacea</i>	●									
トビハタ <i>Triso dermopterus</i>					●					
タナバタウオ科 Plesiopidae										
タナバタウオ <i>Plesiops coeruleolineatus</i>							●			
アゴアマダイ科 Opistognathidae										
アゴアマダイ <i>Opistognathus hopkinsi</i>									●	
ニラミアマダイ <i>Opistognathus iyonis</i>							●			
キントキダイ科 Priacanthidae										
チカメキントキ <i>Cookeolus japonicus</i>	●									
ホウセキキントキ <i>Priacanthus hamrur</i>	●									●
テンジクダイ科 Apogonidae										
コミナトテンジクダイ <i>Apogon coccineus</i>				●						
アカフジテンジクダイ <i>Apogon crassiceps</i>										●
ハナイシモチ <i>Apogon unicolor</i>					●					
モンツキイシモチ <i>Apogonichthyoides melas</i>										●
クロイシモチ <i>Apogonichthyoides niger</i>		●								
ヨコスジイシモチ <i>Apogonichthyoides sialis</i>	●			●						
リュウキュウヤライイシモチ <i>Cheilodipterus macrodon</i>						●				
ヤライイシモチ <i>Cheilodipterus quinquelineatus</i>		●								
クダリボウズギス <i>Gymnapogon japonicus</i>	●									
アオスジテンジクダイ <i>Ostorhinchus aureus</i>									●	
オオスジイシモチ <i>Ostorhinchus doederleini</i>	●									
コスジイシモチ <i>Ostorhinchus endekataenia</i>	●									
ミナミフトスジイシモチ <i>Ostorhinchus nigrofasciatus</i>	●									●
クロホシイシモチ <i>Ostorhinchus notatus</i>	●									
ネンブツダイ <i>Ostorhinchus semilineatus</i>	●									
ミスジテンジクダイ <i>Ostorhinchus taeniophorus</i>										●
キンセンイシモチ <i>Ostorhinchus wassinki</i>									●	
ヌメリテンジクダイ <i>Pseudamia gelatinosa</i>									●	
ムツ科 Scombroidae										
ムツ <i>Scombrops boops</i>	●									
シイラ科 Coryphaenidae										
シイラ <i>Coryphaena hippurus</i>	●									
アジ科 Carangidae										
イトヒキアジ <i>Alectis ciliaris</i>	●									

付表. 続き 5

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ロウニンアジ <i>Caranx ignobilis</i>									●	
カスミアジ <i>Caranx melampyrgus</i>				●						
ギンガメアジ <i>Caranx sexfasciatus</i>	●									
マルアジ <i>Decapterus maruadsi</i>		●								
ツムブリ <i>Elagatis bipinnulata</i>				●						
カイワリ <i>Kaiwarinus equula</i>	●									
シマアジ <i>Pseudocaranx dentex</i>	●									
カンパチ <i>Seriola dumerili</i>	●									
ブリ <i>Seriola quinqueradiata</i>	●									
イケカツオ <i>Scomberoides lysan</i>							●			
ミナミイケカツオ <i>Scomberoides tol</i>								●		
コバンアジ <i>Trachinotus baillonii</i>	●							●		
マアジ <i>Trachurus japonicus</i>	●									
ヒイラギ科 Leiognathidae										
オキヒイラギ <i>Equulites rivulatus</i>	●									
ヒイラギ <i>Nuchequula nuchalis</i>	●									
ハチビキ科 Emmelichthyidae										
ハチビキ <i>Erythrocles schlegelii</i>				●						
フエダイ科 Lutjanidae										
オオグチインチビキ <i>Aphareus rutilans</i>			●							
ゴマフエダイ <i>Lutjanus argentimaculatus</i>									●	
バラフエダイ <i>Lutjanus bohar</i>										●
ニセクロホシフエダイ <i>Lutjanus fulviflamma</i>	●						●			
オキフエダイ <i>Lutjanus fulvus</i>	●									
ヒメフエダイ <i>Lutjanus gibbus</i>					●					
ヨスジフエダイ <i>Lutjanus kasmira</i>	●									
イッテンフエダイ <i>Lutjanus monostigma</i>										●
ヨコスジフエダイ <i>Lutjanus ophuysenii</i>	●									
ロクセンフエダイ <i>Lutjanus quinquelineatus</i>										●
ナミフエダイ <i>Lutjanus rivulatus</i>	●									
クロホシフエダイ <i>Lutjanus russellii</i>	●						●			
フエダイ <i>Lutjanus stellatus</i>	●									
タテフエダイ <i>Lutjanus vitta</i>	●									
ウメイロ <i>Paracaesio xanthura</i>									●	
オオヒメ <i>Pristipomoides filamentosus</i>									●	
タカサゴ科 Caesionidae										
ササムロ <i>Caesio caerulaurea</i>									●	
マツダイ科 Lobotidae										
マツダイ <i>Lobotes surinamensis</i>	●									
クロサギ科 Gerreidae										
クロサギ <i>Gerres equulus</i>	●									
イサキ科 Haemulidae										
コロダイ <i>Diagramma picta</i>	●									
シマセトダイ <i>Hapalogenys kishinouyei</i>				●						
イサキ <i>Parapristipoma trilineatum</i>	●									
コショウダイ <i>Plectorhinchus cinctus</i>		●								
ムスジコショウダイ <i>Plectorhinchus vittatus</i>	●		●							
イトヨリダイ科 Nemipteridae										
フタスジタマガシラ <i>Scolopsis bilineata</i>										●
タイ科 Sparidae										
キチヌ <i>Acanthopagrus latus</i>	●									
クロダイ <i>Acanthopagrus schlegelii</i>	●									
チダイ <i>Evynnis tumifrons</i>										●
マダイ <i>Pagrus major</i>	●									
ヘダイ <i>Rhabdosargus sarba</i>	●									●
フエフキダイ科 Lethrinidae										
メイチダイ <i>Gymnocranius griseus</i>										●
イトフエフキ <i>Lethrinus genivittatus</i>	●									
ハマフエフキ <i>Lethrinus nebulosus</i>	●									

付表. 続き 6

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ヨコシマクロダイ <i>Monotaxis grandoculis</i>								●		
ニベ科 Sciaenidae										
ニベ <i>Nibea mitsukurii</i>								●		
キス科 Sillaginidae										
シロギス <i>Sillago japonica</i>	●									
ヒメジ科 Mullidae										
モンツキアカヒメジ <i>Mulloidichthys flavolineatus</i>							●			
インドヒメジ <i>Parupeneus barberinoides</i>	●									
オオスジヒメジ <i>Parupeneus barberinus</i>	●				●					
ウミヒゴイ <i>Parupeneus chrysopleuron</i>										●
ホウライヒメジ <i>Parupeneus ciliatus</i>	●									
フタスジヒメジ <i>Parupeneus crassilabris</i>										●
マルクチヒメジ <i>Parupeneus cyclostomus</i>									●	
タカサゴヒメジ <i>Parupeneus heptacanthus</i>							●			
コバンヒメジ <i>Parupeneus indicus</i>	●									
オジサン <i>Parupeneus multifasciatus</i>	●									
オキナヒメジ <i>Parupeneus spilurus</i>	●									
ヒメジ <i>Upeneus japonicus</i>	●									
ヨメヒメジ <i>Upeneus tragula</i>	●									
ハタンボ科 Pempheridae										
キンメモドキ <i>Parapriacanthus ransonneti</i>	●									
ツマグロハタンボ <i>Pempheris japonica</i>	●									
ミナミハタンボ <i>Pempheris schwenkii</i>	●									
チョウチョウウオ科 Chaetodontidae										
トゲチョウチョウウオ <i>Chaetodon auriga</i>	●									
チョウチョウウオ <i>Chaetodon auripes</i>	●									
ウミツキチョウチョウウオ <i>Chaetodon bennetti</i>				●						
ゴマチョウチョウウオ <i>Chaetodon citrinellus</i>	●									
セグロチョウチョウウオ <i>Chaetodon ephippium</i>	●									
ミゾレチョウチョウウオ <i>Chaetodon kleinii</i>	●									
ニセフウライチョウチョウウオ <i>Chaetodon lineolatus</i>	●									
チョウハン <i>Chaetodon lunula</i>	●									
ミスジチョウチョウウオ <i>Chaetodon lunulatus</i>					●					
アケボノチョウチョウウオ <i>Chaetodon melannotus</i>	●									
シラコダイ <i>Chaetodon nippon</i>	●									
スミツキトノサマダイ <i>Chaetodon plebeius</i>										●
アミチョウチョウウオ <i>Chaetodon rafflesii</i>	●						●			
トノサマダイ <i>Chaetodon speculum</i>	●									
スダレチョウチョウウオ <i>Chaetodon ulietensis</i>									●	
イッテンチョウチョウウオ <i>Chaetodon unimaculatus</i>							●			
フウライチョウチョウウオ <i>Chaetodon vagabundus</i>	●									
チョウチョウウオ属の1種 <i>Chaetodon</i> sp.										●
フエヤッコダイ <i>Forcipiger flavissimus</i>								●		
ハタタテダイ <i>Heniochus acuminatus</i>	●									
ミナミハタタテダイ <i>Heniochus chrysostomus</i>	●						●			
ムレハタタテダイ <i>Heniochus diphreutes</i>									●	
オニハタタテダイ <i>Heniochus monoceros</i>						●				
ゲンロクダイ <i>Roa modesta</i>	●									
キンチャクダイ科 Pomacanthidae										
ソメワケヤッコ <i>Centropyge bicolor</i>									●	
チャイロヤッコ <i>Centropyge fisheri</i>										●
アブラヤッコ <i>Centropyge tibicen</i>	●									
ナメラヤッコ <i>Centropyge vrolikii</i>	●					●				
アカネキンチャクダイ <i>Chaetodontoplus chrysocephalus</i>										●
キンチャクダイ <i>Chaetodontoplus septentrionalis</i>	●									
タテジマキンチャクダイ <i>Pomacanthus imperator</i>	●									●
サザナミヤッコ <i>Pomacanthus semicirculatus</i>	●									
ゴンベ科 Cirrhitidae										
オキゴンベ <i>Cirrhitichthys aureus</i>									●	

付表. 続き 7

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
サラサゴンベ <i>Cirrhitichthys falco</i>										●
ヒメゴンベ <i>Cirrhitichthys oxycephalus</i>										●
ウイゴンベ <i>Cyprinocirrhites polyactis</i>									●	
タカノハダイ科 Latridae										
ユウダチタカノハ <i>Goniistius quadricornis</i>		●								
ミギマキ <i>Goniistius zebra</i>				●						
タカノハダイ <i>Goniistius zonatus</i>	●									
ウミタナゴ科 Embiotocidae										
マタナゴ <i>Ditrema temminckii pacificum</i>	●							●		
アオタナゴ <i>Ditrema viride</i>			●							
オキタナゴ <i>Neoditrema ransonnetii</i>	●									
スズメダイ科 Pomacentridae										
テンジクスズメダイ <i>Abudefduf bengalensis</i>	●									
イソスズメダイ <i>Abudefduf notatus</i>	●									
シチセンスズメダイ <i>Abudefduf septemfasciatus</i>						●				
ロクセンスズメダイ <i>Abudefduf sexfasciatus</i>	●									
シマスズメダイ <i>Abudefduf sordidus</i>	●									
オヤビツチャ <i>Abudefduf vaigiensis</i>	●									
クマノミ <i>Amphiprion clarkii</i>									●	
ハマクマノミ <i>Amphiprion frenatus</i>										●
ササスズメダイ <i>Azurina lepidolepis</i>					●					
コガネスズメダイ <i>Chromis albicauda</i>									●	
マツバスズメダイ <i>Chromis fumeus</i>	●									
ナノハナスズメダイ <i>Chromis katoi</i>										●
スズメダイ <i>Chromis notata</i>	●									
キホシスズメダイ <i>Chromis yamakawai</i>										●
タカサゴスズメダイ <i>Chromis weberi</i>									●	
ミヤコキセンスズメダイ <i>Chrysiptera brownriggi</i>	●									
ルリスズメダイ <i>Chrysiptera cyanea</i>			●							
ネズスズメダイ <i>Chrysiptera glauca</i>					●					
ミツボシクロスズメダイ <i>Dascyllus trimaculatus</i>	●									
クロスズメダイ <i>Neoglyphidodon melas</i>										●
セダカスズメダイ <i>Plectroglyphidodon altus</i>	●									
イシガキスズメダイ <i>Plectroglyphidodon dickii</i>				●						
フチドリスズメダイ <i>Plectroglyphidodon fasciolatus</i>									●	
ハクセンスズメダイ <i>Plectroglyphidodon leucozonus</i>	●									
アイスズメダイ <i>Plectroglyphidodon obreptus</i>										●
メガネズメダイ <i>Pomacentrus bankanensis</i>					●					
ソラスズメダイ <i>Pomacentrus coelestis</i>	●									
ナガサキスズメダイ <i>Pomacentrus nagasakiensis</i>	●									
シコクスズメダイ <i>Pycnochromis margaritifer</i>									●	
ヒメスズメダイ <i>Pycnochromis vanderbilti</i>										●
ルリホシスズメダイ <i>Stegastes lacrymatus</i>										●
シマイサキ科 Teraponidae										
シマイサキ <i>Rhynchopelates oxyrhynchus</i>	●									
コトヒキ <i>Terapon jarbua</i>	●									
ヒメコトヒキ <i>Terapon theraps</i>				●						
タカベ科 Scorpididae										
タカベ <i>Labracoglossa argentiventris</i>	●									
ユゴイ科 Kuhliidae										
ギンユゴイ <i>Kuhlia mugil</i>	●									
イシダイ科 Oplegnathidae										
イシダイ <i>Oplegnathus fasciatus</i>	●									
イシガキダイ <i>Oplegnathus punctatus</i>	●									
イスズミ科 Kyphosidae										
ノイスズミ <i>Kyphosus bigibbus</i>		●								
テンジクイサキ <i>Kyphosus cinerascens</i>	●									
イスズミ <i>Kyphosus vaigiensis</i>	●									

付表. 続き 8

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
カゴカキダイ科 Microcanthidae										
カゴカキダイ <i>Microcanthus strigatus</i>	●									
メジナ科 Girellidae										
クロメジナ <i>Girella leonina</i>	●									
オキナメジナ <i>Girella mezinga</i>	●									
メジナ <i>Girella punctata</i>	●									
イボダイ科 Centrolophidae										
イボダイ <i>Psenopsis anomala</i>				●						
エボシダイ科 Nomeidae										
クラゲウオ <i>Psenes arafurensis</i>			●							
ハナビラウオ <i>Psenes pellucidus</i>	●									
ツバメコノシロ科 Polynemidae										
ツバメコノシロ <i>Polydactylus plebeius</i>		●								
ベラ科 Labridae										
ブチススキベラ <i>Anampses caeruleopunctatus</i>	●						●			
スミツキベラ <i>Bodianus axillaris</i>										●
ケサガケベラ <i>Bodianus mesothorax</i>										●
ミツバモチノウオ <i>Cheilinus trilobatus</i>										●
カマスベラ <i>Cheilio inermis</i>								●		
イラ <i>Choerodon azurio</i>		●								
イトヒキベラ <i>Cirrhitilabrus temminckii</i>	●									●
カンムリベラ <i>Coris aygula</i>										●
クギベラ <i>Gomphosus varius</i>									●	
コガネキュウセン <i>Halichoeres chrysus</i>										●
トカラベラ <i>Halichoeres hortulanus</i>	●								●	
アカニジベラ <i>Halichoeres margaritaceus</i>										●
カノコベラ <i>Halichoeres marginatus</i>	●									
ムナテンベラ <i>Halichoeres melanochir</i>									●	
イナズマベラ <i>Halichoeres nebulosus</i>							●			
ホンベラ <i>Halichoeres tenuispinis</i>	●									
テンス <i>Iniistius dea</i>	●									
バラヒラベラ <i>Iniistius verrens</i>										●
テンス属の1種 <i>Iniistius</i> sp.										●
ホンソメワケベラ <i>Labroides dimidiatus</i>	●									
タコベラ <i>Oxycheilinus bimaculatus</i>						●				
キュウセン <i>Parajulis poecileptera</i>	●									
オトヒメベラ <i>Pseudojuloides paradiseus</i>										●
アカササノハベラ <i>Pseudolabrus eoethinus</i>				●						
ホシササノハベラ <i>Pseudolabrus sieboldi</i>	●			●						
オハグロベラ <i>Pteragogus aurigarius</i>	●									
コブダイ <i>Semicossyphus reticulatus</i>	●									
アカオビベラ <i>Stethojulis bandanensis</i>	●					●				
カミナリベラ <i>Stethojulis interrupta terina</i>	●									
オニベラ <i>Stethojulis trilineata</i>				●						
イトベラ <i>Suezichthys gracilis</i>				●						
コガシラベラ <i>Thalassoma amblycephalum</i>	●									
ニシキベラ <i>Thalassoma cupido</i>	●									
セナスジベラ <i>Thalassoma hardwicke</i>	●						●			
ヤンセンニシキベラ <i>Thalassoma janseni</i>									●	
オトメベラ <i>Thalassoma lunare</i>	●									
ヤマブキベラ <i>Thalassoma lutescens</i>	●									●
キヌベラ <i>Thalassoma purpurum</i>							●			
ブダイ科 Scaridae										
ブダイ <i>Calotomus japonicus</i>	●									
ヒブダイ <i>Scarus ghobban</i>	●									
アオブダイ <i>Scarus ovifrons</i>	●									
ニシキブダイ <i>Scarus prasiognathos</i>				●						
アオブダイ属の1種 <i>Scarus</i> sp.	●									

付表. 続き 9

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
アイナメ科 Hexagrammidae										
クジメ <i>Hexagrammos agrammus</i>	●									
アイナメ <i>Hexagrammos otakii</i>	●									
ホツケ <i>Pleurogrammus azonus</i>								●		
カジカ科 Cottidae										
サラサカジカ <i>Furcina ishikawae</i>	●									
キヌカジカ <i>Furcina osimae</i>	●									
イダテンカジカ <i>Ocynectes maschalis</i>	●									
ムツカジカ <i>Ocynectes modestus</i>					●					
ヤナギアナハゼ <i>Pseudoblennius argenteus</i>									●	
アサヒアナハゼ <i>Pseudoblennius cottoides</i>	●									
アヤアナハゼ <i>Pseudoblennius marmoratus</i>	●									
アナハゼ <i>Pseudoblennius percoides</i>	●									
オビアナハゼ <i>Pseudoblennius zonostigma</i>	●									
ハクセンアナハゼ <i>Pseudoblennius</i> sp. 3								●		
スイ <i>Vellitor centropomus</i>	●									
ヒメスイ <i>Vellitor minutus</i>					●					
ダンゴウオ科 Cyclopteridae										
ダンゴウオ <i>Eumicrotremus awae</i>			●							
クサウオ科 Liparidae										
スナビクニン <i>Liparis punctulatus</i>		●								
タウエガジ科 Stichaeidae										
ダイナンギンボ <i>Dictyosoma burgeri</i>	●									
ベニツケギンボ <i>Dictyosoma rubrimaculatum</i>	●									
ムスジガジ <i>Ernogrammus hexagrammus</i>	●									
トビイトギンボ <i>Zoarchias glaber</i>	●									
オオカズナギ <i>Zoarchias major</i>								●		
コモンイトギンボ <i>Zoarchias neglectus</i>	●									
ニシキギンボ科 Pholidae										
ギンボ <i>Pholis nebulosa</i>	●									
トラギス科 Pinguipedidae										
キスジトラギス <i>Kochichthys flavofasciatus</i>									●	
カモハトラギス <i>Parapercis kamoharai</i>								●		
オキトラギス <i>Parapercis multifasciata</i>	●									
トラギス <i>Parapercis pulchella</i>	●									
クラカケトラギス <i>Parapercis sexfasciata</i>	●									
コウライトラギス <i>Parapercis snyderi</i>	●									
ベラギンボ科 Trichonotidae										
クロエリギンボ <i>Trichonotus filamentosus</i>										●
トビギンボ科 Creediidae										
トビギンボ <i>Limnichthys fasciatus</i>					●					
ミシマオコゼ科 Uranoscopidae										
メガネウオ <i>Uranoscopus bicinctus</i>									●	
キビレミシマ <i>Uranoscopus oligolepis</i>				●						
アオミシマ <i>Xenocephalus elongatus</i>	●									
ヘビギンボ科 Tripterygiidae										
ヘビギンボ <i>Enneapterygius etheostomus</i>	●									
ヒメギンボ <i>Springerichthys bapturnus</i>	●									
コケギンボ科 Chaenopsidae										
コケギンボ <i>Neoclinus bryope</i>	●									●
イワアナコケギンボ <i>Neoclinus lacunicola</i>				●						
トウシマコケギンボ <i>Neoclinus toshimaensis</i>										●
イソギンボ科 Blenniidae										
クロスジギンボ <i>Aspidontus dussumieri</i>						●				
ニセクロスジギンボ <i>Aspidontus taeniatus taeniatus</i>	●			●						
タテガミカエルウオ <i>Cirripectes castaneus</i>										●
ホシギンボ <i>Entomacrodus stellifer stellifer</i>					●					
カエルウオ <i>Istiblennius enosimae</i>	●									
ナベカ <i>Omobranchus elegans</i>	●									

付表. 続き 10

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
クモギンボ <i>Omobranchus loxozonus</i>										●
イダテンギンボ <i>Omobranchus punctatus</i>	●									
イソギンボ <i>Parablennius yatabei</i>	●									
ニジギンボ <i>Petroscirtes breviceps</i>	●									
フタホシニジギンボ <i>Petroscirtes springeri</i>									●	
ミナミギンボ <i>Plagiotremus rhinorhynchus</i>	●									
テンクロスジギンボ <i>Plagiotremus tapeinosoma</i>	●									
タテガミギンボ <i>Scartella emarginata</i>					●					
ウバウオ科 <i>Gobiesocidae</i>										
ウバウオ <i>Aspasma ubauo</i>	●									
ミサキウバウオ <i>Lepadichthys misakius</i>	●									
ホソウバウオ <i>Pherallodus indicus</i>					●					
ネズツボ科 <i>Callionymidae</i>										
ヨメゴチ <i>Calliurichthys japonicus</i>	●									
バケヌメリ <i>Eleutherochir mirabilis</i>						●			●	
ヤマドリ <i>Neosynchiropus ijimae</i>	●					●				
コウワンテグリ <i>Neosynchiropus ocellatus</i>							●			
ハナビスメリ <i>Paradiplogrammus enneactis</i>						●				
トビスメリ <i>Repomucenus beniteguri</i>	●									
ネズミゴチ <i>Repomucenus curvicornis</i>	●									
ヌメリゴチ <i>Repomucenus lunatus</i>						●				
ハタタテヌメリ <i>Repomucenus valenciennesi</i>						●				
ハゼ科 <i>Gobiidae</i>										
マハゼ <i>Acanthogobius flavimanus</i>	●									
アシシロハゼ <i>Acanthogobius lactipes</i>	●									
モヨウハゼ <i>Acentrogobius pflaumii</i>										●
スジハゼ <i>Acentrogobius virgatulus</i>	●									●
ダテハゼ <i>Amblyeleotris japonica</i>						●				
サラサハゼ <i>Amblygobius phalaena</i>										●
ホシハゼ <i>Asterropteryx semipunctata</i>	●									
キマダラハゼ <i>Astrabe flavimaculata</i>										●
シロクラハゼ <i>Astrabe lactisella</i>						●				
クロヤハズハゼ <i>Bathygobius coalitus</i>				●						
スジクモハゼ <i>Bathygobius cocosensis</i>						●				
ヤハズハゼ <i>Bathygobius cyclopterus</i>									●	
クモハゼ <i>Bathygobius fuscus</i>	●									
シジミハゼ <i>Bathygobius peterophilus</i>						●				
シュンカンハゼ <i>Callogobius shunkan</i>						●				
アゴハゼ <i>Chaenogobius annularis</i>	●									
ドロメ <i>Chaenogobius gulosus</i>	●									
セジロハゼ <i>Clariger cosmurus</i>	●									
シロヒゲセジロハゼ <i>Clariger</i> sp.					●					
イトヒキハゼ <i>Cryptocentrus filifer</i>						●				
イソハゼ <i>Eviota abax</i>	●									
アカイソハゼ <i>Eviota masudai</i>	●				●					
ナンヨウミドリハゼ <i>Eviota prasina</i>							●			
ヒメハゼ <i>Favonigobius gymnauchen</i>	●									
ビリンゴ <i>Gymnogobius breuginii</i>	●									
ニクハゼ <i>Gymnogobius heptacanthus</i>				●						
スミウキゴリ <i>Gymnogobius petschiliensis</i>	●									
コマハゼ <i>Inu koma</i>						●				
クツワハゼ <i>Istigobius campbelli</i>	●									
ホシノハゼ <i>Istigobius hoshinonis</i>	●									
ミジンベニハゼ <i>Lubricogobius exiguus</i>							●			
ミズハゼ <i>Luciogobius guttatus</i>	●								●	
ナンセンハゼ <i>Luciogobius parvulus</i>					●					
イソミズハゼ <i>Luciogobius martellii</i>									●	
ミズハゼ属の1種 <i>Luciogobius</i> sp.						●				
カスリハゼ <i>Mahidolia mystacina</i>										●

付表. 続き 11

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
アベハゼ <i>Mugilogobius abei</i>	●									
タテガミハゼ <i>Oxyurichthys microlepis</i>							●		●	
サツキハゼ <i>Parioglossus dotui</i>	●									
ベニツケサツキハゼ <i>Parioglossus philippinus</i>									●	
コクテンベンケイハゼ <i>Priolepis akihitoi</i>									●	
ミサキスジハゼ <i>Priolepis borea</i>	●									
フトスジイレズミハゼ <i>Priolepis latifascima</i>				●						
クロユリハゼ <i>Ptereleotris evides</i>	●									
ハナハゼ <i>Ptereleotris hanae</i>	●									
オグロクロユリハゼ <i>Ptereleotris heteroptera</i>							●			
イトマンクロユリハゼ <i>Ptereleotris microlepis</i>						●				
ゼブラハゼ <i>Ptereleotris zebra</i>							●			
キヌバリ <i>Pterogobius elapoides</i>	●									
ニシキハゼ <i>Pterogobius virgo</i>	●									
チャガラ <i>Pterogobius zonoleucus</i>	●									
シマヨシノボリ <i>Rhinogobius nagoyae</i>	●									
サビハゼ <i>Sagamia geneionema</i>	●									
ネジリンボウ <i>Stonogobiops xanthorhinica</i>										●
オニハゼ <i>Tomiyamichthys oni</i>										●
スマチチブ <i>Tridentiger brevispinis</i>	●									
チチブ <i>Tridentiger obscurus</i>	●									
アカオビシマハゼ <i>Tridentiger trigonocephalus</i>	●									
イチモンジハゼ <i>Trimma grammistes</i>	●									
ベニハゼ属の1種 <i>Trimma</i> sp.						●				
アカハチハゼ <i>Valenciennea strigata</i>									●	
マンジュウダイ科 Ehippididae										
ミカツキツバメウオ <i>Platax boersii</i>										●
ナンヨウツバメウオ <i>Platax orbicularis</i>				●						
クロホシマンジュウダイ科 Scatophagidae										
クロホシマンジュウダイ <i>Scatophagus argus</i>							●			
アイゴ科 Siganidae										
アイゴ <i>Siganus fuscescens</i>	●									
アミアイゴ <i>Siganus spinus</i>										●
ツノダシ科 Zaclidae										
ツノダシ <i>Zaclus cornutus</i>	●									
ニザダイ科 Acanthuridae										
ニセカンランハギ <i>Acanthurus dussumieri</i>	●									
スジクロハギ <i>Acanthurus leucopareius</i>									●	
ニジハギ <i>Acanthurus lineatus</i>	●									
イレズミニザ <i>Acanthurus maculiceps</i>									●	
ヒラニザ <i>Acanthurus mata</i>										●
クロモンツキ <i>Acanthurus nigricauda</i>									●	
ナガニザ <i>Acanthurus nigrofusus</i>	●									
モンツキハギ <i>Acanthurus olivaceus</i>	●									●
クログチニザ <i>Acanthurus pyroferus</i>										●
シマハギ <i>Acanthurus triostegus</i>	●									
クロハギ <i>Acanthurus xanthopterus</i>	●									
コクテンサザナミハギ <i>Ctenochaetus binotatus</i>	●									●
サザナミハギ <i>Ctenochaetus striatus</i>	●									
ヒメテングハギ <i>Naso annulatus</i>	●									
テングハギ <i>Naso unicornis</i>	●									
テングハギ属の1種 <i>Naso</i> sp.	●									
ニザダイ <i>Prionurus scalprum</i>	●									
ヒレナガハギ <i>Zebrasoma veliferum</i>	●									
マカジキ科 Istiophoridae										
バショウカジキ <i>Istiophorus platypterus</i>						●				
カマス科 Sphyrnidae										
オオヤマトカマス <i>Sphyrna africana</i>										●

付表. 続き 12

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
ヤマトカマス <i>Sphyraena japonica</i>	●									
アカカマス <i>Sphyraena pinguis</i>	●									
オニカマス <i>Sphyraena barracuda</i>	●									
カマス属の1種 <i>Sphyraena</i> sp.	●									
タチウオ科 Trichiuridae										
タチウオ <i>Trichiurus japonicus</i>										●
サバ科 Scombridae										
スマ <i>Euthynus affinis</i>										●
マサバ <i>Scomber japonicus</i>	●									
カレイ目 Pleuronectiformes										
ヒラメ科 Paralichthyidae										
ヒラメ <i>Paralichthys olivaceus</i>	●									
ヘラガンゾウビラメ <i>Pseudorhombus oculocirris</i>									●	
タマガンゾウビラメ <i>Pseudorhombus pentophthalmus</i>						●				
アラメガレイ <i>Tarphops oligolepis</i>								●		
ダルマガレイ科 Bothidae										
ホシダルマガレイ <i>Bothus myriaster</i>				●						
コウベダルマガレイ <i>Crossorhombus kobensis</i>				●						
ダルマガレイ <i>Engyproson grandisquama</i>	●									
チカメダルマガレイ <i>Engyproson multisquama</i>										●
ヤツメダルマガレイ属の1種 <i>Tosarhombus</i> sp.										●
ダルマガレイ科の1種 Bothidae, indet. gen. & sp.									●	
カレイ科 Pleuronectidae										
ナガレメイタガレイ <i>Pleuronichthys cornutus</i>										●
メイタガレイ <i>Pleuronichthys lighti</i>	●									
マコガレイ <i>Pseudopleuronectes yokohamae</i>	●									
ウシノシタ科 Cynoglossidae										
トビササウシノシタ <i>Aseraggodes kobensis</i>	●									
ムスメウシノシタ <i>Aseraggodes</i> sp.						●				
ゲンコ <i>Cynoglossus interruptus</i>	●									
ミナミアカシタビラメ <i>Cynoglossus itinus</i>										●
ササウシノシタ <i>Heteromycteris japonica</i>	●									
クロウシノシタ <i>Paraplagusia japonica</i>	●									
シマウシノシタ <i>Zebrias zebrinus</i>				●						
フグ目 Tetraodontiformes										
ギマ科 Triacanthidae										
ギマ <i>Triacanthus biaculeatus</i>					●					
モンガラカワハギ科 Balistidae										
クマドリ <i>Balistapus undulatus</i>										●
モンガラカワハギ <i>Balistoides conspicillum</i>										●
ゴマモンガラ <i>Balistoides viridescens</i>										●
アミモンガラ <i>Canthidermis maculata</i>	●									
アカモンガラ <i>Odonus niger</i>	●									
キヘリモンガラ <i>Pseudobalistes flavimarginatus</i>	●									●
ムラサメモンガラ <i>Rhinecanthus aculeatus</i>	●									
タスキモンガラ <i>Rhinecanthus rectangulus</i>	●									
クラカケモンガラ <i>Rhinecanthus verrucosus</i>	●									●
ツマジロモンガラ <i>Sufflamen chrysopterum</i>						●				
メガネハギ <i>Sufflamen fraenatum</i>						●				
モンガラカワハギ科の1種 Balistidae, indet. gen. & sp.	●									
カワハギ科 Monacanthidae										
ウスバハギ <i>Aluterus monoceros</i>	●									
ソウシハギ <i>Aluterus scriptus</i>	●									
アオサハギ <i>Brachaluteres ulvarum</i>	●									
ハクセイハギ <i>Cantherhines dumerilii</i>										●
アミウマヅラハギ <i>Cantherhines pardalis</i>										●
ヒゲハギ <i>Chaetodermis penicilligera</i>									●	
ノコギリハギ <i>Paraluteres prionurus</i>										●
ヨソギ <i>Paramonacanthus oblongus</i>	●									

付表. 続き 13

目・科・種	工藤・岡部 (1991)	工藤他 (1992)	岡部・工藤 (1993)	工藤・山田 (2001)	工藤・山田 (2003)	工藤・山田 (2005)	工藤・山田 (2011)	工藤他 (2013)	工藤他 (2019)	本報告
アミメハギ <i>Rudarius ercodes</i>	●									
カワハギ <i>Stephanolepis cirrifer</i>	●									
ウマヅラハギ <i>Thamnaconus modestus</i>	●									
センウマヅラハギ <i>Thamnaconus multilineatus</i>										●
ハコフグ科 Ostraciidae										
コンゴウフグ <i>Lactoria cornuta</i>	●						●			
ウミスズメ <i>Lactoria diaphana</i>	●									
シマウミスズメ <i>Lactoria fornasini</i>									●	
ミナミハコフグ <i>Ostracion cubicum</i>	●									
ハコフグ <i>Ostracion immaculatum</i>	●									
クロハコフグ <i>Ostracion meleagris</i>										●
フグ科 Tetraodontidae										
サザナミフグ <i>Arothron hispidus</i>	●									
コクテンフグ <i>Arothron nigropunctatus</i>	●									
ハナキンチャクフグ <i>Canthigaster axiologa</i>					●					
キタマクラ <i>Canthigaster rivulata</i>	●									
シマキンチャクフグ <i>Canthigaster valentini</i>	●									
クマサカフグ <i>Lagocephalus lagocephalus</i>	●			●						
シロサバフグ <i>Lagocephalus spadiceus</i>		●								
ヨリトフグ <i>Sphoeroides pachygaster</i>				●						
クサフグ <i>Takifugu alboplumbeus</i>	●									
アカメフグ <i>Takifugu chrysops</i>	●									
ムシフグ <i>Takifugu exascurus</i>	●									
コモンフグ <i>Takifugu flavipterus</i>	●									
ヒガンフグ <i>Takifugu pardalis</i>	●									
マフグ <i>Takifugu porphyreus</i>	●									
トラフグ <i>Takifugu rubripes</i>										●
ショウサイフグ <i>Takifugu snyderi</i>	●									
ハリセンボン科 Diodontidae										
ヤセハリセンボン <i>Diodon eydouxii</i>	●									
ハリセンボン <i>Diodon holocanthus</i>	●									
ネズミフグ <i>Diodon hystrix</i>	●				●					